

第七十回帝國議會
衆議院

アルコール專賣法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

アルコール專賣法案(政府提出)

會議

昭和十二年三月十五日(月曜日)午後一時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 平川松太郎君

理事野田武夫君 理事信太儀右衛門君

理事岩瀬 亮君

中島彌國次君

菊池 良一君

東條 貞君

倉成庄八郎君

今給黎誠吾君

出席政府委員左ノ如シ

專賣局長官 荒井誠一郎君

專賣局部長 花田 政春君

農林書記官 湯河 元威君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

專賣局技師 黒野 勘六君

農林技師 間部 彰君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

アルコール專賣法案(政府提出)

○平川委員長 是ヨリ開會致シマス、前回

三善君ノ質問ガマダ殘テ居リマスガ、外ノ委員會ヘオ出デニナリマシタカラ、三善君ノ質問ヲ留保シテ、山本厚三君ニ質問ヲ許シマス

○山本委員 私ハ極メテ簡單ナコトヲ御尋

スルノデスガ、先日來政府ノ御説明ヲ伺ッテ居リマスルガ、ドウモ「アルコール」ヲ專賣

制ニスルト云フ強イ理由ト云フモノガ、マ

ダ本當ニ吞込メナイノデス、大體分リマシ

タガ、本當ニ御諒解ガ皆サンガ行カヌヤウ

デス、併シモウ御尋シテモ同ジ事ヲ御答辯

ニナルノデスカラ、其點ハ私ハ御尋シマセ

ヌガ、「アルコール」ヲ混入スル額ハ非常ニ

僅カナモノデスガ、是ト相對シテ人造石油、

石炭液化ト云フ問題ガ、非常ナ大資本デ、

大規模ナモノデアリマスガ、「アルコール」

ダケヲ專賣ニシテ、此根本ノ大キナ問題デ

アル他ノ一ツノ問題ヲ、專賣ハ兎モ角トシ

テ、官營ニシナイ理由——是ハ專賣局ノ管

轄デアルカドウカ分リマセヌガ、先般一寸

ソレニ觸レタヤウデアリマスガ、ドウモ諒

解ガ出來ナイノデアリマス、是ハ商工省ノ

方ガオ出デニナラスト説明ガ出來ナイノデ

セウカ、出來タラドナタカラデモ御説明願ヒマス

○荒井政府委員 只今ノ御尋ハ、商工省ノ

當局カラ御話ヲ致シタ方ガ便利カト思ヒマ

スガ、唯私ガ考ヘテ居リマスル違フ點ダケ

ヲ申述ベテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、

人造石油ノ問題ガ非常ニ肝要ナ問題デアッ

テ、是ガ燃料問題ノ基本デアルト云フコト

ハ、御話ノ通りデアリマシテ、此方ニ付キ

マシテハ別ニ法律案ガ出來マシテ、政府ノ

方デ助成ヲ致シマシテ、サウシテ民間ト共

同デヤルト云フコトニナッテ居ルノデアリ

マス、是ハ私ハ此企業ノ性質カラ見マシテ、

大企業デアリ、原料關係モ石炭ヲ原料ニス

ル、或ハ他ノ化學的ノ操作デ出來ルモノヲ

原料トスルト云フコトデアリマシテ、會社

組織トスルトコトガ適當ダト云フコトモ考ヘ

ラレルノデアリマス、之ニ反シマシテ此「ア

ルコール」ノ方ハ、甘藷、馬鈴薯等ヲ原料

ト致シマスノデ、之ヲ生産スル計畫ヲ立テ

ル、而シテ工場ノ操作モ、化學的操作デ致

シマセヌノデ、蒸溜ト云フ方法ニ依ルト云

フヤウナ、自ラソコニ製造方法ナリ企業ノ

性質カラ見テ、一方ハ政府事業トスルヨリ

會社ニスル、一方ハ或點マデハ政府事業ニ

スルト云フコトガ宜クナイカ、斯ウ考ヘタ

ノデアリマス、專賣ト申シマシテモ、是ハ

強制混入ニ伴ヒマシテ販賣ノ專賣ヲスルト

云フノト、ソレカラ製造ニ付テモ專賣ニス

ル、此ニツガ「アルコール」專賣法ノ中ニ含

マレテ居ルノデアリマス、販賣ヲ專賣ニス

ルト云フコトハ、是ハ「アルコール」ニ付キ

マシテ色々ノ取締ノ關係ガ、非常ナ重要ナ

問題ニモナッテ參リマス、一定ノ割合デ混入

サセルト云フコトデ、其方面カラモ專賣ト

シテ政府ガ賣渡スト云フコトガ起ッテ來ル

ト思フノデアリマス、尙ホ製造ノ方ヲ專賣

ニ致スト云フコトデアリマスガ、併シ是ハ

民間ニ適當ナル製造者ガアレバ、委託製造

ト云フコトニ致シマシテ、決シテ之ヲ排斥

シテ居ル意味デナイト云フコトハ、度々申

述ベテ居ルノデアリマス、或ハ不十分デア

ルカモ知レマセヌガ、根本ノ所ハ、或ハ商

工當局デモ御出席ノ時ニ、詳シク又申上ゲ

ル方ガ宜イカト思ッテ居ル次第デアリマス

○山本委員 此問題ハ、私バカリデナク他

ノ委員諸君モ、人造石油ノ委員會デナク、此委員會ニ於テ、少シ突ッ込ンデ質問シタイ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、適當ナ時機ニ——ト申スヨリハ、明日ニデモ商工大臣ノ出席ヲ求メテ貰ヒタイト思フガ、御含ミ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○平川委員長 承知シマシタ

○山本委員 其上デ色々御尋ラシテ見タイト思ヒマス、其點ハ私ハ留保シテ置キマス、是ハ少シ別ノ問題ノヤウニナリマスルガ、昨年ハ焼酎ヲヤハリ專賣ノ中ニ入レテ、焼酎ヲ專賣ニスルト云フコトガ專ラ傳ハリマシテ、隨分ヤカマシク焼酎業者ガ騒イデ居ッヤウデアリマスルガ、今回此法律ヲ御作リニナルニ付テ焼酎ヲ除外サレタノハ、大體ドウ云フ順序デアリマスカ、是ハ參考ニ伺ッテ置キマス

○荒井政府委員 焼酎ヲ專賣ニ致シマス計畫ヲ立テマシタノハ、一般ノ税制ノ根本的ノ整理ニ關聯シマシテ、酒造税ノ方モ變ッテ來ル、隨テ焼酎ノ性質カラ見マシテ、專賣ニ適スルモノデアルカラ、是ハ專賣ト致シタ方ガ宜カラウト云フコトニナッテ案ヲ立テタノデアリマスルガ、税制ノ根本的の整理ガ見合セニナリマシテ、再檢討ヲ致スト云フコトニナリマシタノデ、焼酎ノ專賣モ亦

再檢討ヲスルト云フコトニナリマシテ、是ダケヲ除外致シタノデアリマス

○山本委員 此法案ノ根本ノ精神等ニ付テ

ノ檢討ハ、相當ニ盡サレテ居リマスルシ、モウ大體是レ以上私ハ御尋シテモ同ジコトガラウト思ヒマスルカラ、其問題ハ私ハ此程度ニ致シテ置キマシテ、他ノ機會ニ又重ネテ御尋フスルコトニシタイト思ヒマス、主トシテ私今日御尋シタイコトハ、原料ニ關スル問題デアリマスルガ、ソレニ付テ生産地ニ近イ所ニ工場ヲ設置スルト云フコトノ方針ノヤウデアリマスルガ、大體六十位ノ工場ニ爲サレルヤウナ御考ノヤウデスガ、今其位置ニ付テ大體ノ御方針ヲ伺フコトハ出來マスマイカ

○荒井政府委員 工場ノ數ヲ幾ラニスルカ

ト云フコトハ、實ハ未ダ今日決ッテ居ラナイノデアリマシテ、初年度ニ於キマシテ、豫算ハ七箇所デアリマスガ、大體物價騰貴等ノ關係カラ見マシテ、五箇所位ニ減ルカト思ヒマスガ、是ハ先ヅ一番ヤリ易イ甘藷ノ主産地地方ニ設ケルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、十三年度以降ノ問題ニ付キマシテハ、十三年度豫算ノ審議ノ際ニ讓ルコトニ致シタイノデアリマス、先日來カラ之ニ付キマシテハ色々御尋モアリマシ

テ、小サイ工場ヲ澤山置クカ、或ハ中規模ノモノニスルカ、或ハ大規模ノモノニスルカト云フコトニ付キマシテモ、今日ニ於テ尙ホ研究ヲ要スル問題ト思ヒマスガ、吾々ノ考トシテハ、先ヅヤハリ原料ノ産地ニ近イ所ニ置カウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、具體的ニドウ云フ地方ニ幾ツ置クカト云フコトハ、未ダ定ッテ居ラナイノデアリマス

○山本委員 工場ノ規模ノ程度ニ付テノ、

先般來ノ御議論ニ付テハ私モ意見モアリマスガ、是ハ意見デアリマスルカラ申上ゲル必要ハナイヤウナモノデアリマスガ、是ハヤハリ餘リ大規模ノモノデナイ方ガ宜イト思ヒマス、政府ノ御説明モアリマスルガ、其他ノ點ヲ考慮シマシテモ、餘リ大キナ工場ヲ極メテ少數ヲ作ッテ、目方ノ重イ原料ヲ持ッテ來ルト云フコトハ、是ハ不適當デアリマスルシ、又農村關係ノコトモ、陸軍アタリカラ頻リニ話ガアルヤウデアリマスルカラ、サウ云フ點カラ言ッたら、大體政府ノ御方針デモ差支ナイト思フノデアリマスガ、モウ既ニ工場ノ府縣等ハ決ッテ居デニナルデセウガ、是ハ秘密デ御發表ニナラスデセウ、強ヒテ御尋スル必要モアリマセヌ、生産地ニ工場ヲ置クト云フコトニ付

テハ、從來甘藷ノ澱粉、及ビ澱粉カラ製造スル澱粉館ガアルノデスガ、是等ノ製造工業トドウ云フ關係ニナルカ、無論相當大キナ影響ヲ齎スノデアリマスガ、ソレニ付テ政府ハドウ云フ御調べニナッテ居リマスルカ伺ヒマス

○荒井政府委員 「アルコール」工業ヲ起シ

マスルニ付キマシテ、原料關係カラ色々他ノ方ノ、例ヘバ焼酎製造、澱粉製造ト云フモノト競合ヲ起スト云フコトハ、是ハ當然起ッテ來ル問題デアリマシテ、十分研究ヲ盡サナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ是等ニ對シマシテ出來ルダケ影響ノ少イ方法ヲ以テ、此仕事ヲ進メテ行カナケレバナラス、又其爲ニ十分ナル注意ヲ致サナケレバナラスト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其方法ト致シマシテハ、今日アリマスル甘藷、馬鈴薯ト云フモノハ、是ハ從來需要ガアルノデアリマスカラ、是其方面ノ需要ニ向ケル、而シテ新シク増産計畫ナリ、或ハ耕地ノ擴張計畫ヲ樹デマシテ、之ニ依リマシテ新シイ需要デアル「アルコール」ノ製造ノ需要ニ充テル、斯ウ云フ方針ニ致ス考ヲ持ッテ折角努力致シテ居ルノデアリマス

○山本委員 其點ハ先般來度々御説明ニ

ナッテ居リマシテ、先ヅ第一ニ品種改良等
デ、現在ノ反別ニ付テ増收ヲ圖リ、第二ニ
休閒地トカ或ハ新墾地ヲ殖ヤシ耕作ヲ施
ス、ソレカラ第三ニ轉作ヲスル、此三ツノ
ヤウニ御説明ニナツタノデアリマスガ、先般
戴キマシタ表ニ付テ、此増產計畫ノモウ少
シ具體的ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○荒井政府委員 其點ハ農林當局ノ方カラ
御説明ヲ願フタ方宜イカト思ヒマス

○間部農林技師 先日資料ヲ差上ゲテ置キ
マシタガ、アレハ甘諸ノ増產ノ見込高ノ表
デアリマスガ、實ハ是ハ昨年ノ十月ニ主要
ナル甘諸ノ生産府縣ニ照會ヲ致シマシテ、
其縣デ甘諸ノ増產サレル餘地ナリ、其増產
ノ見込量ヲ調査報告サシタノデアリマス、
所ガ其後吾々ノ所デハ、モウ少シ之ヲ具體
的ニ増產ノ計畫ヲ十分ニシテ置カケレバ
ナラスト云フ關係カラ致シマシテ、先ヅ九
州地方、關東地方ノ數縣ノ農務關係ノ主任
官ヲ寄セマシテ、十二年度カラ燃料「アル
コール」ノ製造ヲ開始スルモノト致シマシ
テ、是等ノ地方デ實行ノ可能性ノアル計畫
ニ付テ色々打合テ致シタノデアリマス、
ソレヲ基礎ト致シマシテ、私共ノ手許デ樹
テテ居リマスル案ヲ申上ゲタラ宜イカト
思ッテ居リマス、大體關東地方トシマシテハ、

原料甘諸ノ供給縣トシテハ、茨城、千葉、埼
玉ト云フヤウナ縣ヲ、ドウシテモ是ハ考ヘ
ナケレバナラヌカト思ヒマス、先ヅ茨城縣、
千葉縣ハ、關東ノ中デモ最モ甘諸ノ生産ノ
多イ縣デアリマスカラ、其縣ニ付キマシテ
増產ノ計畫ヲ樹テテ居ルノデアリマスガ、
少シ煩シイカモ存ジマセヌガ、數字ヲ少シ
申上ゲマス、茨城縣デハ既栽培地ノ反當リ收
量ノ増加ニ依ル増收ト致シマシテハ三百四
十四萬貫、千葉縣デハ三百八十四萬貫……
○山本委員 一寸御話中デスガ、此表ト違
ヒマスガ……

○間部農林技師 前ニ申上ゲタヤウニ、其
表ハ昨年ノ十月ニ、マダ此事業ノ具體的ナ
内容ノ定マラヌ前ニ、唯主要ナ甘諸ノ生産
縣デ、若シ増產ヲ行フトスレバ、ドウ云フ
方面ニ餘地ガアルドラウカト云フ照會ヲシ
タノデアリマス、私共トシテハ、ソレデ直
チニ計畫ヲ定メル譯ニイカナイノデアリマ
ス、ソレデ九州地方ト關東地方ノ數縣ニ付
キマシテハ、更ニ打合セテ致シマシテ、具
體的ニ進メラレル計畫ヲ樹テテ居ル譯デア
リマス、固ヨリ其供給數量ニ於テハ、此前
ニ差上ゲテ居リマスル量ハ減ラナイノデア
リマシテ、唯内容ノ増產方法ニ付テ、具體
的ニ色々府縣ト研究致シマシタ結果、或ハ

ソレデヤイカヌデヤナイカ、モウ少シ其點
ヲ斯ウシタラ宜イデヤナイカト云フヤウ
ニ、私共デ修正ヲ加ヘテ打合セテ結果ノモ
ノヲ、是カラ申上ゲル次第デアリマス、今
ノハ既栽培地ニ於ケル反當リノ收量ノ増加
ニ依ル増收ノモノデアリマスガ、茨城縣ガ
三百四十四萬貫、千葉縣ガ三百八十四萬貫、
此外ニ新ニ十二年度ニ栽培地ヲ擴張致シマ
スル部分ノ増收ガアルノデアリマシテ、ソ
レハ茨城縣デ三百三十萬貫、千葉縣デ三百
二十五萬貫、之ヲ合計致シマス、既栽培
地ノ反收ノ増加ニ依ルモノガ七百二十八萬
貫、新規栽培地擴張ニ依ルモノガ六百五十
五萬貫、其總計ガ千三百八十三萬貫トナル
ノデアリマス、是ハ茨城縣ト千葉縣ノモノ
デアリマスガ、九州地方ニ於キマシテハ、
宮崎ト熊本ト鹿児島ト三縣ヲ考ヘテ居リマ
ス、是亦九州地方ノ最モ主要ナ甘諸ノ生産
地デアリマスカラ、ドノ道此三縣ト云フモ
ノハ、原料甘諸ノ供給ニ付テハ考ヘナケレ
バナラス縣ナノデアリマス、既栽培地ニ於
ケル反收増加ニ依ル増收量ヲ申上ゲマス
ト、宮崎縣ガ五百六十五萬貫、熊本縣ガ百
二萬貫、鹿児島縣ガ二百三十三萬貫、新規
栽培地擴張ニ依リマスモノガ、宮崎縣ガ二
百萬貫、熊本縣ガ六百十五萬貫、鹿児島縣

ガ四百三十一萬貫、合計致シマシテ、既栽
培地ニ於ケル増收ガ九百萬貫、新規擴張ニ
依ルモノガ千二百四十六萬貫デアリマス、
合計致シマシテ二千四百六十六萬貫ニナルノ
デアリマス、既栽培地ニ於ケル反當リ收量
ノ増加ト云フコトハ、是ハ先ヅ第一ニ増收
ニハ考ヘナケレバナラスコトデアリマシ
テ、是ハ或ハ肥料ノヤリ方ヲ變ヘマストカ、
或ハ栽培法ニモウ少シ手ヲ入レルトカ云フ
コトニ依リマシテ、増收ニ於テハ、實ハ甘
諸ニ付テハ全國的ニ非常ニ多イノデアリマ
ス、デスカラ愈ヘ是ガ實施サレルト云フコト
ニナリマス、十分指導ヲ致シテ、實際的
ノソレダケノ成績ヲ上ゲタイト思ッテ居リ
マス、ソレカラ新規栽培地ノ擴張デゴザイ
マスガ、是ハ縣々ニ依ッテ多少趣キ異ニシ
テ居リマス、或縣デハ開墾地ガ相當十二年
度ニ見込マレテ居リマス、又開墾地ヨリモ、
他ノ作物カラノ轉換ニ依ルモノヲ多ク見込
ンデ居ル所モアリマス、ソレハ其縣々ノ實
情ニ應ジテ計畫ガ立ッテ居ルノデアリマス
ガ、之ニ對シマスル種芋ノ問題デアリマス、
先達テノ委員會デモ、此點ニ付テ何カ御不
安ノアルカノヤウニ承ッタノデアリマスガ、
ソレハ斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、元來今
年作付ケシマスル甘諸ノ苗ト云フモノハ、

モウ目下ガ苗床ノ準備、苗床ニ種芋ヲ伏セル最中トデモ申シテ宜シイノデアリマシテ、此法案ガ決マツテカラ準備シタノデハ實ハ遅イノデアリマス、所ガ只今申上ゲマシタ各縣ニ於キマシテハ、マア昨年カラ新聞等ニ依ツテ燃料「アルコール」ノ製造計畫ト云フモノガ發表サレマシテ以來、農家ハ言ハズ語ラズ甘藷ノ増産ノ氣構ヘデアリマシテ、自然種芋ノ準備ヲ普段ヨリカ餘計ニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ固ヨリサウ云フコトハアリ得ルコトデアリマスガ、併シ其點ハ實ハ私モ懸念致シテ居ッタノデアリマシテ、更ニ各府縣ニ就テ調査致シタノデアリマス、千葉、茨城ノ如キハ、縣カラ度々人ヲ寄セテ、其點ヲ確メテ見タノデアリマス、又九州地方ニ於キマシテハ、先達デ人ヲ派シテ、其事情ヲ能ク調査致シテ見タノデアリマスガ、何レモ其新規擴張ニ對シテノ種芋ノ準備ハ十分ニアツテ、差支ハナイト云フコトニナツテ居リマス、マア左様ナ譯デアリマスカラ、十二年度ニ「アルコール」ヲ製造スル爲ニ必要ナル原料ノ甘藷供給ハ、十分ニ見込ガアルト私ハ考ヘテ居リマス、デ寧ロ今日ノ各縣ノ計畫ノ數字ヲ其儘合計致シマス、或ハ政府ノ製造ショウトシテ居ル「アルコール」ノ量ニ對シテ、必要ナル量ヨ

リモ稍多イカト思ヒマスガ、愈々本案ガ決定致シマスレバ、更ニ直チニ各縣ノ當局者ヲ集メマシテ、實際ノ計畫ヲ更ニ立デマシテ、十分ニ獎勵ヲ致ス積リデ居リマス

○山本委員

原料ノコトヲ少シ詳シク御聽

キ申シタイト云フ譯ハ、一寸申上ゲテ置カスト、餘リ細カイコトノヤウデスカラ申上ゲテ置キマスガ、只今申上ゲタヤウニ澱粉、飴、燒酎ノ如キモノデモ、足リヌ位ニモウ原料ガ詰ツテ居リマスカラ、之ヲ十三年カラヤルト云フノナラ準備ガ出來ルガ、三善君ガ大分突込シデ農林省ノ方ト御話シタヤウナ譯デ、十二年ニ製品ヲ出サウト云フノヲ今カラヤルト云フコトハ、是ハ非常ニ遅イ、是ハ私モ一部同感デアリマスガ、何レニシテモ競合スル製造業、燒酎ハ兎モ角、此澱粉、飴ト云フモノハ、此議會ニ於テモ、例ヘバ朝鮮ノ「ホーム・プロダクト」ノ關係ナドハ、是ハ随分議論ニナツタコトデアリマシテ、是ハ政府モ獎勵シテ居ル筈デアリマス、サウ云フ場合ニ、之ニ少シデモ不安ヲ與ヘルト云フヤウナコト、若クハ此事業ニ打撃ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲヤルコトハ無論宜シクナイ、是ハ政府ガ御承知デアラウト思フ、大體ノ形勢カラ行キマス、今ノ澱粉、飴等ノ原料ニ手ヲ著ケナイデ、増産

ノ方デ之ニ向ケルト云フ御説明デアリマスガ、是ハモウ少シ伺ツテ見ナイト、果シテソナコトガ出來ルカドウカ、ズット先ニ行ッタナラバ、或ハ出來ルカモ知レマセヌガ、中々當分ハ疑問ガ起ルデアラウト云フ懸念カラ御尋スルノデアリマス、ソコデ今御話ノコトハ、私共ノ戴イテ居ル表トハ非常ナ違ヒナデスガ、昨年ノ十月ノ調ト、本年ノ何月ノ調カ知ラスガ、其後ノ調デアリマセウ、例ヘバ茨城縣ノ如キハ、所謂品種改良等ノ增收ガ、反當增收ノ結果ガ百五十六萬貫ト云フ御報告デアルノニ、是ガ二百萬貫モ殖エテ三百四十四萬貫、千葉縣ガ同ジク二百五十萬貫、百三十萬貫モ殖エテ三百八十八萬貫、ソレカラ新墾地ノ增收、是ハヒドイ違ヒデアリマシテ、茨城縣ノ如キハ七十萬貫ト云フノガ、三百三十萬貫ニ増加ヲ致シテ居ル、千葉縣ガ是ハ二十萬貫ノ増加、是ハ殆ド同ジデアリマス、モットヒドイノハ、印刷ノ誤リデスカ何デスカ、鹿兒島縣ノ如キハ、反當增收ノ結果ガ三千三百萬貫ト云フ御報告デアルノガ、二百三十三萬貫デアルト云フヤウナ今ノ御話デアッタシ、宮崎縣ガ八百萬貫ガ五百六十萬貫ニ減ツテ、熊本縣ノ六百八十萬貫ガ只ノ百萬貫ニ減ツテ居ル、又新墾地ニ付テハ、鹿兒島縣ノ百萬

貫ガ四百三十萬貫ニ殖エ、宮崎縣ハ三十萬貫程減ツテ居ルダケデスガ、熊本縣ニ至リマスルト、百九十萬貫ト云フノガ六百十五萬貫ト云フヤウナ、殆ド調ニモ何ニモナラヌヤウナモノニナツテ居ルノデスガ、是ハ昨日モ大分議論ガアッタノデスガ、中々是ハ面倒アラウト思フノデス、ソコデ御尋スルノデスガ、大體土地ニ依リマセウガ、反當收入ト云フモノハ、幾ラ位ノモノヲ今御覽ニナツテ居ルノデアリマス、平均ハ三百三十萬貫ト云フヤウナ御話デシタガ、是等ノ土地、此五縣ニ工場ヲ御置キニナル積リデ、斯ウ云フ御答辯ガアッタモノト思フガ、之ヲ來年恐ラクオヤリニナルデセウ、今御話ノアッタヤウナモノハ……ソレナラ御話ニナツテモ何デモナイデアリマセヌカ、鹿兒島縣外五縣ハ、誰ガ見テモ初メニヤルノハコンナ所ガラウト思フカラ、ソナコトハ秘密ニナサラヌデ、御話ニナツテ然ルベキダト思フガ、ソレハ別トシテ、大體此五縣ニ付テ現在ノ反當收入ト、僅カ一年デズット殖ヤスト云フ反當收入トノ比較ハ、一體ドウ云フ御調ニナツテ居リマスルカ、伺ヒタイノデアリマス

○間部農林技師 前ニ差上ゲマシタ表ト、只今申上ゲタモノトノ喰違フコトハ、先刻

申上ゲタ通りデアリマシテ、前ノ表ハ昨年ノ十月ニ、ドノ邊ニ工場ガ出來ルト云フヤウナコトノ考慮ハ少シモ地方ニ於テモ拂ハレズ、唯其縣デ若シ極力増産ヲスルナラバ、ドレダケノ増産ノ餘地ガアルカト云フコトノ、アレハ下調デアリマス、只今申上ゲマシタノハ、大體九州ニ於テハ、熊本ト鹿児島ト宮崎、大體此三縣ノ中ニ工場ヲ設ケラレルモノト私共ハ豫想シテ居リマスガ、サウスルト今度ハ實際ニ近イ——何モ餘分ナモノヲ生産スル必要モナイノデアリマスカラ、實際ニ近イ生産ヲ致シタラ宜イ譯デアリマシテ、大體ソレニ合セテ作ッタノデアリマス、ソレデ御話ノ如ク、如何ニモ前ノ調査ガ杜撰ナヤウデアリマスガ、調査ガ杜撰ナノデハナクテ、前ノ増産見込ヨリカモ今度ハ實際ニ合セテ、工場ガ其地方ニ設ケラレルモノトシテ、早ク言フト、具體的ナ計畫ヲ致シタカラ、斯ウ云フ數字ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ後段ニ御尋ノ既栽培地ニ於ケル反當收量ノ増加ヲ、ドノ位ニ見テ居ルカト云フ御質問デゴザイマスガ、茨城縣デハ、實ハ是ハ細カク申上ゲレバ、大體縣ノ中七郡位ヲ、先ヅ十二年度ニ甘藷ノ増産ヲヤラセル郡ト定メマシテ、其七郡ノ中デ反當數量ノ増加ヲ圖ラウト云フ

分ヲ更ニ決メマシテ、ソレニ付テ極力獎勵シテ行カウト云フノデアリマスガ、基準ニナル反當收量ハ三百十五貫ト云フコトニナッテ居リマス、之ヲ四百二十五貫、即チ百十貫増スト云フ計畫デアリマス、千葉縣ニ於キマシテハ、ヤハリ是亦縣全體ト云フノデナクテ、縣内ノ是モ大體七郡位デアリマスカニ集中シテ、先ヅ十二年度ハ獎勵シテ行カウト云フノデアリマス、是ハ其地方ニ付テノ計畫デアリマスガ、反當ノ基準收量ガ四百十六貫ニナッテ居リマス、ソレヲ四十貫増加スル、ソレカラ宮崎縣ハ反當ノ基準收量ガ四百貫デアリマシテ、ソレヲ五百貫ニシヨウ、即チ百貫増シ、熊本縣ハ基準收量ガ三百八貫デアリマシテ、四十二貫増シテ三百五十貫ニシヨウ、鹿児島縣ハ基準收量ガ四百七十四貫デアリマスガ、ソレヲ五十四貫増ス、斯ウ云フ計畫デアリマス、縣ニ依リマシテハ百貫以上増ス計畫ト致シテ居ル所モアリ、又僅ニ四十貫程度ノ增收ニ止メヨウトスル所モアリマス、是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、其地方ノ現在ノ甘藷ノ栽培狀況カラシテ、ウント餘地ノアル所、左程ニ餘地ノナイ、急激ニ増産ノ見込メヌ所ト、縣ニ依ル事情ノ差デ、是ハ當然ノコトト思ヒマス

○山本委員 此調ト云フモノノ説明ハ、是ハドナタデモ承服出來ヌ説明デス、ソシテ説明ハ……(「サウダ」ト呼フ者アリ)兎モ角昭和十一年十月ニ此計畫ヲオヤリニナッテ、餘程熟シテ居ルトキニ、ドウ云フ註文ヲ各府縣ニオ、出シニナッテ居ルカ知リマセヌガ、一體各府縣カラ材料ヲ御取リニナル時分ニ、最低限ヲ御取リニナッタノカ、最高限ヲ御取リニナッタノカ伺ヒタイ

○間部農林技師 最低限トモ最高限トモ言ハナイノデスガ、寧ろ極力獎勵スルト云フ立前デト云フコトニナリマスカラ、極メテ容易ニト云フ意味デナク、相當ニ是ニハ力ヲ注グモノトシテ、ドノ位アルカト云フ報告ヲ求メタ譯デアリマス、サウシテ其當時ニ於キマシテハ、ドノ地方ニ工場ガ設ケラレルデアラウト云フコトハ、無論ソレ等ノ地方ニ於テハ分ラヌモノトシテ、報告シテ來タ譯デアリマス

○山本委員 ソレハモウ愈々妙ナ御調デアリマシテ、工場ヲ愈々設ケルト云フ空氣ニナッテ來タカラ、三百万貫ト云フモノガ二百八十万貫ニ減ッタトカ、三百二十万ニ殖エタトカ、ソレハ時ニ依ッテ其御調ハ眞面目ニヤレバ殖エルコトモ減ルコトモデアリマス、ソレデアリマスカラ、アナタノ御調ノ

命令ト云フモノガ、最高限カ最低限カト云フノデアリマシテ、一體ウント作ッタラ幾ラ作レルンダ、ウント作ッタラ千万貫增收ガ出來ル、又サウ積極的ニ大キク考ヘナクテモ、取敢ズ兎ニ角最低幾ラマデ穫レルカト云フコトナラ分ルト思ッテ伺ッタガ、何ダカ分ラナイデス、シテ見ルトアナタノ御調ト云フモノハ、今度政府デ愈々斯ウ云フコトヲヤッテ見タイガ、君ノ方デ土地改良其他デ反當收量ガ幾ラ殖エ、其反別ガドノ位アッテ、幾ラニナルカト云フコトヲ御問ニナッタモノダト思フ、サウスルト各府縣、例ヘバ鹿児島縣ノ如キハ、ドウ云フ譯デ三千三百萬貫ナンテコトヲ言ッテ來タノデスカ、僅カノ違ヒデナイカラ御尋スルノデアリマスカノ間部農林技師 鹿児島ノ報告ハ——實ハ私共ノ調査ヲ府縣ニ命ジマシタノハ、昭和十二年ニドレダケノ増産ガ出來ルカ、ソレカラ十三年、十四年、十九年マデ年次のナ増産計畫ヲ聽イタノデアリマスガ、鹿児島縣ハ其十九年、即チ最後ノ年ニ増産サレル量ヲ初年カラ出來ル、ヤレバ出來ルンダト云ツタ考ノ下ニ報告致シテ居リマス、デアリマスカラ私共固ヨリ斯ウ云フ數字ヲ以テ、具體的ナ計畫ノ基礎ニハ爲シ難イノデアリマス、成程ヤレバソレダケノ餘地ガアル

ノデアリマスカラ、ヤレルデアリマセウケ
レドモ、十二年度ニ直チニソレダケノモノ
ガ收穫ヲ現ハスグラウトハ、私共モ考ヘラ
レヌノデアリマス、デアリマスカラ先刻申
上ゲタヤウナ工合ニ、先ヅ十二年度トシテ
ハ、確實ニ實行性ノアルモノトシテノ計畫
ニシテ、幾ラニナルカト云フコトヲ今申上
ゲタノデアリマス

○平川委員長 一寸農産課長ニ御尋シマス
ガ、サウスルトアナタノ御説明ニ依リマス
ト、此御配付ニナッタ甘藷ノ増産見込高、
或ハ馬鈴薯ノ増産見込高ト云フ、此表ハ信
用出来ナイト云フコトニナルノデアリマス
カ

○間部農林技師 信用出来ナイト云フト、
一寸語弊ガアリマスガ……
○平川委員長 サウ云フコトニナル
○間部農林技師 極力増産スレバ……
○平川委員長 結局委員ガ尋ネヨウトスル
所ハ、「アルコール」ヲ事實ニシテ、サウシ
テ、昭和十二年、十三年、十九年度マデニ
甘藷ガ、ドレダケ増産スルカト云フコトヲ
御尋シテ居ルノデアリマス、ソレニ斯ウ云
フ信用ノ出来ナイ表ヲ出シテ、アナタノ今
ノ説明トハ違フノデス、今ノアナタノ説明
ト此見込高ノ表トハ全然違ッテ居ル

○間部農林技師 十二年度ト十三年度、ソ
レカラ十九年度ノ最後ノ年ノ増産ノ數量デ
アリマス

○平川委員長 十九年度ニナレバ宜イガ、
アナタノ説明ト是トハ全然違フノデス、
ドツチヲ信用シテ宜イノデアリマスカ
○間部農林技師 只今私ノ申上ゲタ方ガ、
實際ノ計畫トシテ採ルベキモノデアリマス
○平川委員長 サウスルト實際ノ計畫トシ
テハ、此表ハ信用出来ナイコトニナル
○間部農林技師 此通りニヤル數字トシテ
ハ、私共ハソレヲ採リマセス

○山本委員 私ハ別ニ當局ヲ責メル譯デモ
何デモナイノデスガ、此表トアナタノ今御
説明ニナッタノトハ、意味ガ全然違フ所ガア
ル、全部聽カスト分リマセヌガ、今ノアナ
タノ御話ダト、鹿兒島ガ泡ヲ食ッテ十九年度
ノヲ出シタノグラウト仰シヤルガ、ソレハ
サウデハナイ、鹿兒島ハ昭和十二年度ニ反
當收入増加ニ依ルモノガ三千三百万ト云フ
コトヲ計上シテ居ル、十三年度ハ別ニ三千
三百万、同ジデス、毎年行ッテサウシテ昭
和十九年度ニ三千三百万ノ增收ガアッテ、ソ
レデ結局昭和十九年度ニナルト、三ツヲ合
計シテ七千万貫ノ增收、斯ウ云フコトハチ
ヤント書イテアルノデアリマシテ、昭和十

二年度ニ鹿兒島ガ三千三百万トナッテ居ル
ノハ、實ハ昭和十九年ノダト云フ今ノ御話
ハ間違ッテ居ル、其表ニチヤント書イテアル
デヤアリマセヌカ、ソレデスカ私ガ今御
尋シタ、實ハ細カイコトダカラ止サウト思ッ
テ居ッタガ、ドウモ調ベテ見ルト、鹿兒島ガ
餘リニ違フカラ御尋シタ、鹿兒島ガ三千三
百万バカリ增收スルトナッテ居ルカラ、御尋
シテ見ルト、アナタガサウ仰シヤッタ、是ハ
私ガ御尋シナケレバ、此儘吾々ハ、看過シ
テ、此議會ガ濟ンデシマフノデヤナクッタカ
ト思ヒマスガ、アナタノ増産ノ御説明ハ違ッ
テ居リマセヌカ

○間部農林技師 鹿兒島ノ三千三百万ト云
フノハ、既栽培ノ生産見込數量デアリマス、
十九年ニ於テモ既栽培地ノ増收量ヲ三千三
百万取ッテ居リマスカラ、詰リ初年カラ最後
ノ年ノ增收ノ分マデヤレルモノトシテ、十
二年度ニ出テ居リマスカラ、是ハ採ラヌト
云フノデアリマス

○山本委員 ソンナ馬鹿ナコトヲ言ハレテ
ハ困ル、兎ニ角議員ノ請求ニ依ッテ御出シ
ニナッタ表ヲ——若シ是ガ豫算デアッたら大
變ナ問題デアリマス、尤モ大藏大臣モドン
ドン取消サレルヤウナ豫算ダカラ仕方ガナ
イガ、豫算トシテハ大變デ、ソンナ参考書

類ヲ出シテ置イテ、ソレヲアナタノ方カラ
具體的ニ今日御訂正ニナッテ、三千三百万
貫ト書イテアルガ、之ヲ調ベテ見タラ間違
ノヤウダッタカラ、此處ハ斯ウ訂正スルト
仰シヤルナラ、ソレ切りデ仕方ナイガ、議
論ニ入ッテカラ、知ラヌ顔ヲシテ、三千三
百万貫ヲ二百二十三万貫デスカ、ソンナ十
五分ノ一ノヤウナ馬鹿ナコトヲ言ッテ、ソ
レデ實ハ、是ハ昭和十九年デアリマスナド
ト言フケレドモ、ソレナラ何故アナタノ方
デ御纏メニナルノニ、御交渉ニナラナイノ
カト云フノガ一ツト、ソレカラ是ハ大體分
リマシタカラ、是レ以上ハ突止メマセヌガ、
其次ノ欄ニアル所謂休閑地及ビ新墾地、要
スルニ新墾地ノ新耕作ノ增收デスガ、サウ
ナッテ來ルト實ニ益、滑稽ナノハ、鹿兒島ハ
百万貫ガ四百三十一万貫ニ殖エテ居ルノデ
ス、反當增收ノ方ハ十五分ノ一ニ減スシ、
新墾地ノ方ハ四倍ニ殖ヤスト云フノハ、此
方ハ一體昭和十九年度ノ考デヤラナクッタ
ノデスカ、サウシタラマルデ縣廳ノ調ノ標
準ガナイコトニナル、何カ御説明ガアリマ
スカ

○間部農林技師 鹿兒島ノ新規栽培ノ面積
ノ擴張ニ依ル部分ハ、前ニ差上ゲマシタ表
ハ、確ニ前ノ方ガ少シデ今度ハ多イノデス、

○間部農林技師 鹿兒島ノ新規栽培ノ面積
ノ擴張ニ依ル部分ハ、前ニ差上ゲマシタ表
ハ、確ニ前ノ方ガ少シデ今度ハ多イノデス、

ハ、確ニ前ノ方ガ少シデ今度ハ多イノデス、

是ハ先刻モ申上ゲタ通り、縣デ愈々之ヲ實施スルモノトシテ、最近計畫ヲ立直シマシテ作ツタモノデアリマス、ソレデ實際ニ於テ、其餘地ガアルカナイカト云フコトニナリマス、最近ハ人ヲ派シテ調べタノデアリマスガ、ソレハ十分ノ餘地ガアルト云フコトハ確實デアリマス、郡モ大凡定メマシテ、其調査ヲ致シタノデアリマス、デアリマスカラ只今私ガ此處デ申上ゲマシタ數字ハ、十二年度ニ於テ増産ヲスル具體的ナ計畫ノモノダト云フコトニ、御承知ヲ御願シタイト思ヒマス、前ニ差上ゲマシタ表ハ、

昨年ノ照會ニ依ッテ、單ニ増産ノ見込量ト云フモノヲ報告シテ來タモノヲ、其儘差上ゲマシタノデ、只今ノヤウナ問題ガ起キタノデアリマスガ、實際ノ計畫ニ當ッテハ、先刻申上ゲタヤウニ、縣トモ十分打合セノ上ノ確實ナモノデ進ンデ行ク積リデアリマス

○山本委員 サウスルト其下ノ段ヲ伺ヒマスガ、轉作ニ依ル増産見込ト云フノニ付テハ、五縣ノ報告ハ變化ガナイノデスカ

○間部農林技師 先刻私ガ申上ゲマシタ新規栽培地ノ擴張ニ依ルモノト云フノハ、開墾ノ部分ト轉換ノモノトヲ併セテ申上ゲタノデアリマス

○山本委員 轉作モ入ッテ居ルノデスカ

○間部農林技師 轉作モ入ッテ申上ゲタノデアリマス、若シ内容ヲ分ケテ……

○山本委員 分ケナクテモ宜イデス、アトデ聽キマス、サウナッテ來タラ、是ハモウ間違ドコロノ話デハナイ、是ハ御話ニナリマセヌネ、例ヘバ一番端カラ言フト、茨城縣ガ轉作——私ハ轉作ナント云フコトハ駄目ダト云フコトヲ、此間カラ豫ネテ言ッテ居タノデアリマスガ——此轉作ガ五百二十萬貫デ、轉作ト今ノ閑地栽培ト二ツ加ヘルト六百萬貫、ソレガ半分ノ三百三十萬貫ニ減ッテ居ル、或ハ埼玉縣ハソレ程デハナイガ、百萬貫減ッテ居ル、熊本縣ガ轉作ガ三百萬貫デ、ソレト加ヘテ百萬貫殖エ、鹿兒島縣ニ至リマス、百萬貫ト六百八十萬貫加ヘテ七百八十萬貫デ、半分ニナッテ居ル、是ハ幾ラカナタノ辯明ニ近クナッテ居ルガ、ヤハリ大キナモノヲ出シテ居ル、サウスルト此表ト云フモノハ、御返ヘシシテ別ノヲ戴カナイト、コンナ表デ質問ヲシテモ時間バカリ掛ッテ仕方ガナイ、抑、私ハ此間カラコチラデ默ッテ聞イテ居ッタノデスカ、ドウモ收穫量ニ付テ戴ク物ヤ説明ヲ見ルト、尻カラ合シタヤウナ氣ガシテ居ッタ、百六十萬石ヲ殖ヤスニハ、是ダケノ甘藷、澱粉ガ要ル、ソレヲ全國デ合セルト幾ラニナル、此處ニ

ハ五億萬貫ト書イテアリマスガ、之ヲ三百三十萬貫デ割レバ百六十萬ニナル、是ハ甘藷ダケデアリマス、其外ニ馬鈴薯ガアリマスガ、マサカソナコトモナイノデセウガ、ヨク會社ヤ官廳デハ、尻カラ生産額ヲ合フヤウニ見ルト云フヤウナコトガアルト思ッテ居リマスガ、是ハサウデハナイデセウガ、是ハ餘リヒドイ、昭和十二年ガ此位デスカラ、他府縣モ全部サウデアリマセウガ、百萬貫ノ高デ、ソレハ一割、二割位ノ違ヒハアリマセウ、甚シクテ半分位モ違フト云フヤウナ馬鹿ナ縣廳モアリマセウガ、鹿兒島縣ヤ熊本、宮崎ノヤウナ馬鹿ナ報告ヲスル縣廳ノ經濟部ト云フモノハ無能力デアル、サモナケレバ、アナタノ方ノ指示ガ惡イ、私ノ御伺スルコトハ色々アリマスケレドモ、先ヅ之ヲ直シテ、稍、信用ノ出來ル表ヲ一ツ戴キタイデス

○間部農林技師 尙ホソレニ付テ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、例ヘバ茨城縣ハ、前ニ差上ゲタ表デハ、増産ノ大部分ト云フモノヲ他作物ノ轉換ニ求メテ居ルノデアリマス、此處ニハ殆ド大部分ガソレデ報告ヲサレテ居ルノデアリマス、併ナガラ其總テノ報告ニ依ル、其合計ノ數量ハ七百五十萬貫ニナリマス、今度私ガ申上ゲマシタモノ

ハ、サウ云フ新規栽培ノ計畫ト云フモノヲ急激ニヤルト云フコトハ、實際上是ハ不可能デアルノデ、府縣カラ人ヲ寄セマシテ協議シタ上ニ、其計畫ヲ改メサセテ、サウシテ實際行ハレサウナモノニシテ出シタノガ、即チ只今申上ゲタモノデアリマス、隨テ反當收量ノ増加ノ方ヲ今度ハ殖ヤシタ譯デアリマス、其方ノ増加分ト云フモノヲ殖ヤシタ譯デアリマス、是ハ指導ヲ十分ニシリマス、新規擴張ト云フコトニナリマス、是ハ中々困難ガアリマシテ、急場ノ間ニ合ハスノデアリマスカラ、ソチラノ方ヲ減シテ、比較的容易ニ行ハレル方ヲ増シテ行ク譯デアリマス、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、前ニ差上ゲタ表ハ、度々繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、單ニ増産ノ見込ト云フモノガ、甘藷ノ主要生産縣ガドウ位アルカト云フコトノ照會ニ對スル報告デアリマシテ、私共實施ニ當ッテノ計畫ハ、之ヲ此儘探ラウト云フ考ハ毛頭ナイノデアリマス、今日申上ゲマシタヤウニ、ソレハ改メテ、ソレニ依ッテ實行サセル積リデアリマス

○山本委員 其點ハドウモサウダト云ッテ正直ナ所ヲ仰シヤラレバ仕方ガナイ、要スルニ御參考ニオヤリニナッタモノデ——

是ハ吾々ノ殆ド參考ニナリマセス、コンナ

モノヲ委員會ノ材料ニ出サレテハ困ル、サ

ウ云フ譯ナレバ、是ハ今直グニハ出來マス

マイガ、適當ナ時期ニ御訂正ヲ願ヒタイ、

ソレハソレトシテ、ソレナラ御伺スルノデ

スガ、一體反當收入百十貫目ダトカ、百貫

目ダトカ、一年ニ急ニ殖セルモノデスカ、

ソレカラ甘諸ニ關スル調ノ中、甘諸作付反

別ト云フノハ、是ハ間違アリマスマイナ、

サウスルト茨城縣ヲ御覽ヲ願ヒタイガ、約

一万一千町歩アル、一万一千町歩デ三百四

十四萬貫モ御殖シニナルト云フト、一體平

均ニスルト、ドウ云フ風ニナリマスルカ

タモノデゴザイマス

○山本委員 今ノ表ニ付テハ、大體其程度

ニシテ置キマスガ、唯之ニ付テノ希望ハ、

此表ガ一割ヤ二割デナイ、十倍ト云フヤウ

ナ極端ニ惡イ縣モアル、是ハ表ヲ作ル標準

ダト仰シヤルガ、是デハ今度ノ——只今御

讀ミニナッタ明年度實行ノ增收ト云フモノ

ガ、果シテ正シイカドウカト云フコトモ、ド

ウモ私ハ疑ハシイノデアリマスルガ、併シ

ソレハ解釋ノ問題デスカラ、餘リ當ニナラ

ヌト云フコトヲ申シテ置クヨリ仕方ガナイ

ノデアリマス、ソレヨリモ原料問題デ大事

ナノハ、隨分今マデモ改良ニ改良ヲ加ヘテ、

シテ出來ルモノデゴザイマセウカ、ソレヲ

伺ヒタイ

○間部農林技師 此計畫ハ先刻申上ゲマシ

タヤウニ、縣ガ郡、町村農會等ノ當事者ト

十分ニ相談ヲシテ見込ヲ立テタノデアリマ

ス、成程一反歩ニ百貫餘リノ增收ト云フコ

トハ多イヤウニ思ヒマス、併シ茨城縣ノ例

ヘバ猿島郡地方トカ、アノ邊ノ甘諸ノ栽培

ノ狀況ヲ私共ガ眺メテ見マシテモ、肥料ノ

如キヤラナイモノガ多イノデアリマスル

ガ、極メテ栽培法ガ粗放デアリマス、デア

リマスカラ今度此政府ノ計畫ニ依リマシ

テ、或ル値段デ——一定ノ相當ナ値段デ買

○山本委員 是ハ農村議員モ此席ニオ居デ

デセウシ、私共モ色々ナ農業ヲ自分デ隨分

長イコトヤッテ居リマスガ、如何ナル種類ノ

農產物ニシテモ今日マデ放ッテ置イテ、五十

年ナラ五十年——實際ハ本當ニ改良シタノ

ハ二三十年デセウ、北海道ノ馬鈴薯ナドハ、

澱粉ガ一箱二十圓モシテ、二等汽車デ郷里

ニ歸ッタト云フヤウナ、黃金時代モ歐洲戰爭

當時ニハアッタ、一俵デモ澤山穫ラウト思ッ

テ、ウントヤリマシタガ、ソレハ十何年前

デアッタカラ容易デアッタカモ知レマセス、

ソレハモウ御説ノ通りデアリマスケレド

モ、數量ノ割合ニ依リマス、今日ハ農事試

○間部農林技師 茨城縣デハ増栽培ハ一万

一千町歩アリマスガ、先刻申上ゲマシタヤ

ウニ、十二年度ニ於キマシテハ、縣内ノ七

郡ヲ指定シマシテ……

○山本委員 何町歩アリマスカ

○間部農林技師 其中デ反當收量ヲ増加セ

シメヨウト云フ反別ガ、三千四百町歩デア

リマス、其七郡ノ全部ニ付テト云フコトデ

ナクテ、其幾割カノモノニ付テ、大體地域

ヲ決メテ、其處ニ指導ヲ集中サシテ行フ考

デアリマス、尙ホ一寸附加ヘテ置キマスガ、

是ハ縣ニ於キマシテモ、郡農會、町村農會

ノ當事者トモ寄々協議ヲシテ、計畫ヲ樹テ

デハアルケレドモ、實際ノ農家デハ八百貫

位取ッテ居ル、普通ノ内地ノ甘諸ハ、三百三

十貫カラ三百四十貫平均ノヤウデアル、所

ガ之ヲ伺フト云フト、茨城縣ハ三百十五貫

ヲ百十貫、十二年度ダケデ殖ヤス、宮崎縣

ハ百貫、其他七八十貫カラ九十貫ヲ殖ヤス

ト云フノデアリマスガ、茨城縣ノ如キハ、

チヨット三割增收ニナルノデスカ、サウ云フ

コトガ大キナ三千町歩ナドト云フ土地ニ對

シテ出來ルモノデゴザイマセウカ、ソレヲ

伺ヒタイ

○間部農林技師 此計畫ハ先刻申上ゲマシ

タヤウニ、縣ガ郡、町村農會等ノ當事者ト

十分ニ相談ヲシテ見込ヲ立テタノデアリマ

ス、成程一反歩ニ百貫餘リノ增收ト云フコ

トハ多イヤウニ思ヒマス、併シ茨城縣ノ例

ヘバ猿島郡地方トカ、アノ邊ノ甘諸ノ栽培

ノ狀況ヲ私共ガ眺メテ見マシテモ、肥料ノ

如キヤラナイモノガ多イノデアリマスル

ガ、極メテ栽培法ガ粗放デアリマス、デア

リマスカラ今度此政府ノ計畫ニ依リマシ

テ、或ル値段デ——一定ノ相當ナ値段デ買

上ゲテ貰フコトガ確實デアル、即チ生産ヲ

シテモ、ソレハ必ズ販賣シ得ラレルト云フ

コトガ決マリマスレバ、農家トシテハ増産

ニ力ヲ注グコトニナル譯デアリマス、唯漫

然ト甘諸ノ栽培ガ甚ダマヅイカラ改良セヨ

ト言ッテモ、ソレハ改良致シマセヌガ、改良

シテ増産ヲスレバ、増産シタダケハ相當ノ

値段デ賣レルト云フ希望ガアリマスレバ、

獎勵ヲ加ヘレバ十分是ハ行クノヂヤナイ

カ、殊ニ縣ガ非常ニ收量ガ少イダケニ、或

ハ肥料デアリマストカ、其他ノ手入レヲ十

分ニ指導シテ行ケバ、ソレダケノ收穫ハ是

ハ技術的ニ見テ舉ルト思ヒマス

○間部農林技師 從來茨城縣ノ先刻申上ゲ

タ地方ニ於キマシテハ、甘諸ノ増産ニ付テ

ハ、特別ニ獎勵ヲ加ヘテ居ッタトハ思ヒマセ

ヌ、ソレハ一般ノ農事ノ改良ニ付テハ、獨

要ガナイノデス、生産ヲ急ニ殖スト云フト、
値段ガ下ル虞ノアルヤウナモノニ付キマシ
テハ、ドウモ農家モ栽培ノ改善ニ熱ヲ有タ
ナイ、併シ是モ理窟ノ上カラ申シマス、反
當收量ノ増加ヲ圖ルコトヲウント努メテ、
從來一町歩デ生産ヲ擧ゲテ居ッタモノヲ、
八反ナリ七反ナリデ擧ゲル、二反ナリ三反
ナリノ餘裕ヲ生ゼシメテ、外ノ物ヲ穫ルト
云フコトハ、ソレハ理窟ハ確ニサウデアリ
マスガ、中々農家トシテハ俄ニソコニ行ク
ノハ思ヒモ及バヌノデアリマス、今度ノヤ
ウニ兎ニ角生産ヲ殖セバ、ソレダケノモノ
ハ必ズ間違ナク、相當ノ値段デ買ッテ貰ヘル
ト云フコトニナルト、改善ヲシテドウシテ
モ餘計ニ生産ヲシヨウト云フ刺戟ガ、相當
ニアル譯デアリマスカラ、私共此程度ノ増
産ハ出來ルト考ヘテ居リマス、固ヨリ容易
デアルトハ思ヒマセヌ、ソレニハ縣トカ農
會方面ニ於テモ、十分ナル指導ヲシナケレ
バナラヌシ、或ハ又肥料ノ餘計ニ施サセル
トカ云フコトガ、結局增收ニ一番效キ目ア
ル方法ト存ジマス、肥料ノ配給等ニ付テハ、
産業組合ナドヲ利用サシテ行クト云フヤウ
ナ方面ノ指導ハ、極力ヤラナケレバナラヌ
ト思ヒマス、ソレヲヤレバ此程度ノ増産ハ
是ハ私出來ルト思ヒマス

○山本委員 是ハ私ハ出來ナイト云フコト
ヲ保證シテ置キマス、アナタハ農民ノコト
ヲ能ク知ラスノデス、昨日モ三善君ニ叱ラ
レタヤウニ知ラナイノデス、誰ガ——作物
ヲ折角多收シテモ賣レナイカラ多收ヲシナ
イナドト云フヤウナ、ソシナ農民ハアリマ
セヌ、種類ニ依ッテハ時々アリマスケレド
モ、長イ間ヤラナイデ居ッテ、サウシテ今ニ
ナッテ急ニ三割一年ニ增收スル、是ハ成程今
五分增收シ、十三年度ニ五分十九年度ニ至ッ
テ三割殖ヤスト云フコトハ、ソレハ出來ル
ガラウト思フ、ソレ位ノコトナラ一週ニ肥
料ヲヤリ、草ヲドン——取レバ三割ノ增收
モ、去年マデハ是デ出來タンダケレドモ、
ヤラセナカッタノダ、一町歩ノ畑ヨリハ一
反歩ノ畑同ジ收入ガ出來タノヲヤラセナ
カッタ、ソシナ馬鹿ナ農林行政ハアリマセ
ヌ、全體的ノ——一反歩カ二反歩ノ小サイ
所ハサウデスケレドモ、三千百町歩ナドト
云フ莫大ナ土地ヲ、三割モ無駄ナコトヲシ
テ居ッタト云フコトニナルノハ、ソシナ馬鹿
ナ農林行政ヲヤラレテハ大變デス、ソレハ
反面カラ言ヘバ出來ヌコトト考ヘテ居リマ
ス、三千百町歩デ百十貫目ヅツ餘計芋ノ取
レル方法ヲ縣廳デヤラセルト云フ、ソシナ
コトヲ言ッテモ、普通ノ常識ノアル者ニハ分

リマセヌ、一體大藏省ノ政府委員ハサウ云
フコトヲ御信用ニナリマスカ、是ハ御調ニ
ナッタノデヤアルマイト思ヒマスケレドモ、
是ハ大臣デモオ出ニナッタ意見ヲ聽イテ
見ナケレバナラヌ、ソレハ一ツ茨城縣デス
ガ、サウ云フモノガ出來マスカ、先年宮崎、
熊本、鹿児島デモ、一年ニ百貫目ノ增收ヲヤ
ルト云ッテ出來ナカッタノニ、今カラ——四
月一日カラヤルベキ法律ノコトヲ、芋ノ種
ヲ採ッテ、ソレカラ芽ガ出タヤツヲ頼ンデ、
ソレデ三割ノ增收ガ取レルト云フコトハ、
手品使ヒ見タヤウナモノデアリマス、私ハ
ソレ以上言ッテ見タ所デ、アナタハ確信シ
テ居ルノデアリマスカ、此委員ノ中ニモ、
鹿児島ノ人モ居ルシ、北海道ノ人モ居ルカ
ラ、後デ御聽キニナッテ見テ下サイ、一年
ニ三割ノ增收ガ出タラ、農事試驗場ハ大シ
タモノデス、金雞勳章デス、ソレガ出來ナ
イノデ、芋ノ栽培ニ付テモ北海道デ苦心ヲ
シテ居ルノデアリマス、併シ是レ以上聽イ
テモアナタガサウ云フ御意見デアリマスカ
ラ、他ノ機會ニ農林省ノ方ニモウ一應聽イ
テ見ヌト、ソシナ原料デ斯ウ云フ事業ヲヤ
ル譯ニ行カヌカラ、他ノ機會ニ聽クコトニ
シマシテ、其位ニシテ置キマスガ、次ニ此
轉作ノコトモ、ドウモ其内譯ヲ聽イテモ仕

方ガナイカラ、轉作ノコトモヤハリ——代
作ヲオヤリニナルノナラバ、棉ノ問題モ起
リマセウ、米ト同ジ棉ノ轉作、是ハ議會デ
ハ相當大キナ問題デ議論ヲシテ居リマス
ガ、僅カナ面積ヨリ實際ニハ出來ナイ、之
ヲドノ位ナ面積ニ轉作スルノカ、此點ニ付
テ餘リ長クナッテモイケマセヌカラ、他ノ
機會ニ聽クコトニ致シマスガ、恐ラク是ハ
中々面倒ダラウト思ヒマス、是ハ一體ドウ
云フ種類——ソレダケ、一體茨城縣ヲ一ツ
ニ見テ、轉作ハ何ヲヤルカ、一ツダケ伺ッ
テ置キマス

○間部農林技師 茨城縣デハ轉作ハ二百六
十四町歩見込デアリマス、サウシテ何ヲ
ヤルカト言ヒマスト、陸稻、ソレカラ大豆、
先刻申上ゲマシタ地域ノ郡デ、陸稻ナドノ
收穫ノ餘リナイヤウナ土地デハ、寧ロ甘藷
ヲ作ッタ方ガ有利ニナルト云フ計算ニナル
ノデアリマシテ、サウ云フ所デハ甘藷ガ宜
イ、又大豆モ、ヤハリ餘リ其地域ニ於テハ
十分ノ收穫ノ上ラヌ所モアリマスカラ、サ
ウ云フ所ガ甘藷ニ代ハルト思ヒマス

○山本委員 是ハモウ調ガナイカラ、果シ
テ其位アルカドウカ、想像デ分リマセヌガ、
サウ云フ大キナ轉作ガアルトハ思ヘナイ、
唯御聞キ致シテ置クヨリ仕方ガアリマセ

ヌ、次ニ同ジ問題ニ付テ聽キタイノハ、此
芋ガ、段々芋ヲ食スルコトガ多クナリマス
カラ、食量モ非常ニ殖エルグラウト思ヒマ
ス、ソレカラ澱粉、飴等モ、焼酎等ノ原料
モ相當増加ヲ來スト思ヒマスガ、ソレノ昭
和十九年頃ノ需要増加ト云フモノヲ、御調
ベニナツタモノガアリマシタラ承リタイ

○間部農林技師 ソレハ今マデ具體的ナ數
字ハ出シテ居リマセヌ

○東條委員 一寸今ノニ關聯シテ——今拜
聽シテ居リマス、茨城縣ノ作付轉換ガ二
百六十四町歩ト云フコトデアリマスガ、此
處ニ出テ居リマス作付轉換見込面積ト云フ
モノヲ見マス、茨城縣ガ二千三百町歩、
ソレカラ栃木縣ガ二千町歩、群馬縣ガ三千
町歩、ソレカラ埼玉縣ガ五百九十五町歩ト
云フコトニナツテ居リマス、大變數字ガ違ヒ
マスガ、此材料ハ好イ加減ナモノデアリマ
スカ

○間部農林技師 ソレハ、御説明致シマス
ガ、今御覽ニナツタノハ、甘藷ニ關スル調ト
シテハ左様ナモノデアリマスガ、是ハ昭和
十九年ノモノト、ソレカラ茨城縣ノ全體ノ
數字ヲ擧ゲテアルノハ、今御讀ミニナツタ通
リデアリマスガ、只今私ノ申上ゲマシタノ
ハ、十二年度ノ轉換ノ見込面積デアリマス

○東條委員 何度聞イテモ分リマセヌ、十
九年度マデニ、十二年度マデニハ二百六十
四町歩ノ轉換見込ガ、十九年度ニハ二千三
百町歩、一寸十倍ニナリマスカ

○間部農林技師 ソレハ茨城縣全體デアリ
マス、私ノ今申上ゲマシタ二百六十四町歩
ト云フノハ、茨城縣全體デアリマセヌ、鹿
島、那珂、西茨城、東茨城、行方、新治ト
云フヤウナ地方デス、茨城縣デアリマスガ、
計畫ヲ立テ居リマスノハ、其中ノ六郡デア
リマス

○山本委員 是ハ餘リ細カイコトヲ今カラ
御質問シタ所デ、實際ニハ何ニモナラヌヤ
ウデアリマスガ、大キナ會社デアルトカ、
或ハ政府ノ仕事ハ、昭和十九年度ニ至ルマ
デ、及ビ其最後ノ所要數量ガ幾ラデアツテ、
ソレハドウ云フ方法ニ依ツテ之ヲ求メルカ、
原料ノ供給ヲ求メルカ、之ヲ確ッカリ御決メ
ニナツテ置イテ戴カヌト困ルノデ、ソレヲ聞
イテ居ルノデアリマス、ソレニ付テハ食料
品、又ハ澱粉、飴ノ材料、焼酎ノ材料等モ、
是ハ減ル氣遣ヒハナイノデアリマス、減ツタ
ラ大變デスカラ、無論殖エマス、サウ云フ
コトモアツテ、サウシテ先刻此處デ不信任ヲ
唱ヘラレタ此増産見込高、此表ニ依ツテ最後
ニ是ガ差支ナイ、又足りヌ場合ニハ獎勵ヲ

シテ増産ヲスルト、斯ウ云フ風ナ確ッカリシ
タ、確ニ原料ハモウ十分デアルト云フコト
ヲ承知シタイノデアリマス、私ハ其質問ヲ
シテ居リマスガ、少シモ其處ニ行カナイノ
ハ、今ノ三ツノ材料デ調ベタコトハナイト
云フノデアリマスガ、食料品、澱粉ノ材料、
飴ノ材料、焼酎ノ材料ハ、昭和十九年ハ倍
デ措イテ、永久ニ殖エルノデアリマスカ、ソ
レハ本當ナラ昭和十九年度マデノ増加ハ、
ドノ位殖エテ、サウシテ此方ノ「アルコール」
ノ増加ハ幾ラ要ル「アルコール」ハ増
加シテ行ク、是ハ幾ラ原料ガ要ルカ、之ヲ
公表シタモノガ此増産計畫、アナタノ方ノ
御調ト合ハナイトイケナイノデスガ、唯増
收ハ相當ノ材料ガ是ダケデアリマス、是ハ
間違ッテ居ルケレドモ、是ハ數量ガ分ッテ居
ル、私ガ算盤ヲ取ッテ見ルト、馬鈴薯ト甘藷
ヲ加ヘルト二百二十万石ノ「アルコール」ヲ
造ルダケノ材料、是ハ御調ベニナツテ居ル、
一方三千万石ノモノヲ三百万石ト言ッテ居
リマスガ、ドウナルカ分リマセヌガ、アナ
タノ發表セラレタ二百二十万石ノ「アルコ
ール」ハ出來ルノデアリマス、外ノモノハ
殖エテ行カナイ、無論殖エテモ、サウ云フ
コトヲ綜合シテ事實法ニスル、尤モ事實ハ
製造ヂヤナイ、販賣ノ事實ダケレドモ、政府

デ製造ヲシテモ百六十万石ノ製造アル、
是ハ恐ラク他ノ機會ニ御質問ガアツヤウ
デアリマスガ、百六十万石ナンカヂヤ駄目
デスモット出來レバ造ラナケレバナラス、需
要ノ上カラ云ツテモ、揮發油ノ需要ト云フモ
ノハコンナモノヂヤアリマセヌ、非常ナ率
デ殖エテ行クノデアリマス、ソレデスカラ
此「アルコール」ガ果シテ宜イトシテ、專賣
法ヲ御ヤリニナルナラバ、其前ニ原料ノ方
ヲスッカリ作ッテ行カナケレバナラス、ソレ
デナクチヤイカヌ、サウ云フ面倒ナコトヲ
御尋シテ居ル、所ガ農林省ノ方ノ調ハ、去
年ノ十月ニ一寸ヤツテ見タガ、愈々實施スベ
キ實際ノモノニ付テ、實際ニ調ベタ所ガ、
ヒドイ所ハ十分ノ一ト云フコトニナツテ居
リマス、サウスルト甘藷ノ増産見込高、馬
鈴薯ノ増産見込高表ト云フモノハ、是ハ當
テニハナラスト云フコトハ、皆サン御認メ
ニナツテ居ルヤウデアリマスシ、今ハ當局モ
御認メニナツテ居ルヤウデス、サウシテ見ル
ト、今ノ所デ原料ハ永久性アリト言ハナク
テモ、昭和十九年マデハ大丈夫ダ、斯ウ云フ
風ニ御答ガ出來マスカドウデスカ
○間部農林技師 私ハ昭和十九年ノ所要數
量ノ原料ハ、確カニ生産サレルト思ヒマス、
成程十二年度ノモノニ付キマシテハ、先刻

色々御話ガアリマシタヤウニ、是ハ實施計畫ヲ今作リマシタノデ、前ノ單ナル増産見込ト、ソコニ喰違ヒヲ生ジテ居リマスルガ、昭和十九年ノ、詰リ是カラ七年先ノ最後ノ増收見込ニ付テハ、是ハ私共自信ヲ持つテ居リマス

○山本委員 今一ツ農林當局ニ御註文シテ置イテ、其點ニ付テハ此程度ニシタイと思ヒマス、ソレハ何デアアルカト云フト、昭和十二年度ノ五ツノ縣ノ中ノ七郡トカ六郡ニ付テハ、關係當局者ヲ呼ンデ詳シク打合せタカラ宜イト仰シヤル、是ハ宜イカ悪イカ分ラヌケレドモ、宜イト信ズルヨリ仕方ガナイ、而シテ三善委員ノ御質問ニナツタ、果シテ十二年度ニ五箇工場ノ二万石ニ對スル——初年度ハ二万石ト仰シヤルガ、五箇工場二万石ニ對スル原料ガ、果シテ増産其他ノ方法ニ依ツテ出來ルカト云フコトハ、私ハ非常ニ疑ハシイ、疑ハシイケレドモ、答辯ガ分ツテ居リマスカラ是レ以上聽キマセヌ、政府ハ疑ハシクナイト仰シヤル、是ハ或ハ疑ハシクナイトモ思フガ、何ヲ以テ昭和十九年マデ確信ガアルト仰シヤルノカ、ソレマデノ統計表ガ駄目デヤゴザイマセヌカ、其上ニ外ノ事業、澱粉、飴、燒酎、食料、此増加ガ幾ラアルカト云フコトヲ御調ニ

ナツテ居ラナイデ、ドウシテソレガ分リマスカ、確信ガアルト云フガ、確信ト云フノハ、抽象的ニ唯頭デ主觀的ニ確信ガアルト言ッタツテ、吾々ニハ分ラヌ、ヤハリ數量デ、大體一万、二万違フト云フノデハナイ、十萬石違ツテモ宜シイ、百萬石違ツテモ宜シイカラ、何億何千萬ト云フ御調ヲ付ケテ御説明ニナラナイト、私バカリデアリマセヌ、ドナタガ御聽キニナツテモ信用シマセヌ、ケレドモ今之ヲ突止メタ所デ、材料ノナイモノハ仕方ガアリマセヌカラ、此次ノ委員會マデニ、サウ云フコトニ付テノ御調ガ願ヒタイト云フコト、モウ一ツ、今ノ表ガ參考ニモナラヌ増産表デアアルノニ、ソレデ直グ賛成シロト仰シヤツテモ困ル、吾々ハ十二年度ダケハアナタノ言フコトヲ信ジテ居ルノデアアルガ、ソレモ一反步デ百貫モ殖ヤスト云フ材料デス、ソナコトハ出來マセヌ、要スルニ出來ナイコトヲアナタハ言ツテ居ルノダカラ、此次マデニモウ少シソレヲ御調下スツテ、私共ノ納得ノ行クヤウニシテ戴キタイ、ソレマデ是ハ留保シテ置キマス、次ニ最後ノ一點ニ移リマス、ソレハ今回ノ「アルコール」專賣法ヲ御計畫ニナルニ付テ、最初カラ日本ノ馬鈴薯ト云フモノノ原料ニ付テハ、ドウ云フ御調ニナリ、ドウ云フ御

考デアツタカト云フコトニ付テ、專賣局長官ヨリ伺ヒタイ

○荒井政府委員 「アルコール」ヲ造ルニ付キマシテハ、勿論甘諸ト馬鈴薯ト云フコトヲ當初カラ考ヘタノデアリマス、殊ニ馬鈴薯ニ付キマシテハ、是ハ寒地ノ適作物デアリマスルシ、之ヲ獎勵スルコトニ於キマシテハ、將來ハ或ハ甘諸ヨリモ數量ニ於テハ、私ハ如何カと思ヒマスガ、見込モ隨分多イ點ガアルノデアリマス、是非是ハ出來ルダケ他ノ方法ヲ講ジマシテ、原料ニ使ヒタイト考ヘタノデアリマス、或ハ馬鈴薯ヲ當初カラ問題ニシテ居ナイト云フコトヲ、世間デ言フ人ガアルノデアリマスガ、決シテ左様ナコトハナイノデアリマス、唯馬鈴薯ヲ使ヒマスニ付キマシテ、今日未ダ酒精ノ製造ニ餘リ使ヒ馴レテ居ナイト云フコトガ、一ツノ初メニ之ヲ取上ゲルニ付テ如何カト考ヘタ點デアリマス、ソレカラ工場ノ設備等ヲ致シマスニ付キマシテモ、馬鈴薯ニ付キマシテハ、乾燥方法モ困難デアリマスルシ、又酒精ニ致シマス製造方法ニ付テモ、是ハ理論上ハ確信ガアルノデアリマスケレドモ、工場設備等ニ付テ、如何ニ之ヲ計畫スルカト云フコトガ、マダ甘諸程進ンデ居ナイノデアリマス、是ハ私ハ實驗上ノコトヲ申スノ

デアリマシテ、九州或ハ此近傍ニ於キマシテ、燒酎等ニ於キマシテ酒精ヲ澤山造ツテ居ルノデアリマスガ、割合ニ今マデ馬鈴薯ガ使ハレテ居ナイト云フヤウナ實驗的ノコトカラ、先ヅ容易ナル甘諸カラ始めテラ宜カラウ、殊ニ當初ノ計畫ニ於キマシテ、之ニ荷モ齟齬ガ起ルヤウナコトガアツテハ、甚ダ申譯ノナイ次第デアリマスカラ、出來ルダケ慎重ノ態度ヲ取ツテ進ム、併シ馬鈴薯ニ付テモ早速研究ヲ遂ゲマシテ、之ヲ原料トスルコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

〔委員長退席、信太委員長代理著席〕

○山本委員 全國デ百六十萬石ニ對シテ、恐ラク五十以上ノ工場ガ出來ルト思ヒマスガ、其五十、六十ト云フ工場ノ割合ハ、今伺ヒマスト馬鈴薯モ研究ノ上ヤリタイト云フ御意見デアリマスガ、甘諸ト馬鈴薯ノ割合ハ、大體ドノ位デオヤリニナル御見込デアリマスカ

○荒井政府委員 是ハ原料關係カラ來ルト思ヒマスガ、モウ少シ正確ナル原料關係ノ見込ガ付キマシテ、其割合等モ分リマスレバ……モウ少シ先ニナツテ申上ゲタ方宜クハナイカト思ヒマスガ、北海道、或ハ青森、岩手、宮城等ニ付キマシテノ増産計畫ニ付キマシテハ、早速正確ナル計算ヲ立テテ貰

ヒマシテ、ソレニ依ッテ大體ノ見當ヲ付ケタ
イト思フデ居ルノデアリマスルガ、正直ナ
所、私ガ今之ヲ幾ラト云フコトヲ考ヘテ居
ルカト申サレマスルト、マダ決ッテ居ラスト
申上ダルヨリ致シ方ナイノデアリマス

○山本委員 成程今ノヤウナ統計デハ、其
工場數ノ割合ヲ御決メニナルコトハ出來ナ
イト思ヒマスルカラ、是ハモウ正確ニ近イ
モノヲ段々御作リニナッテ、御決メニナルト
云フコトデ宜カラウト思ヒマスガ、唯明年
即チ昭和十二年度ニ、馬鈴薯ニ依ル工場ヲ
御造リニナルノデスカ、ナラヌノデスカ、
只今ノ言葉デスト、五箇工場ノ豫定デアッ
テ、縣ガ五ツノ統計ニ御示シニナッテ居リマ
スカラ、甘諸バカリノヤウニ聞エマスガ、
若シ政府ノ御方針ガ、馬鈴薯ハ來年度ハ間
ニ合ハヌト云フナラバ、間ニ合ハナイ理由
ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○荒井政府委員 馬鈴薯ニ付キマシテ工場
ヲ設ケマスルト、兎モ角モ寒地ニナリマス
ノデ、工場設備等ニ付テモ金ガ餘計掛ルト
思ヒマス、豫算ノ當初ニ於テ、然ラバ餘計
ニ金ヲ見積ツタモノデ計上スルト云フ御話
モアルカト思ヒマスガ、併シ是ハ先程申述
ベマシタ理由ニ依リマシテ、先ヅヤリ易イ
モノカラト云フコトカラ、甘諸ヲ原料トシ

テ、關東地方、九州地方ト云フコトデ計畫
ガ始ツタノデアリマス、之ヲ馬鈴薯ト云フコ
トニ當初ノ計畫ヲ變更シテ作ルコトモ、今
日不可能ナ理由モアルノデアリマス、工場
ノ設備等ニ付テ、モウ少シ研究ヲ遂ゲテ、
之ヲ設置スルト云フコトニ致シタイト考ヘ
テ居ルノデアリマス

○山本委員 モウ少シ研究ト仰シヤルガ、
大體ニ於テ何時カラオヤリニナルト云フコ
トモ、マダ研究ガ積ンデ居ラスノデアリマ
セウカ

○荒井政府委員 來年度ニ於テ早速人ヲ派
シマシテ調査ニ掛リマス、而シテソレガ計
畫ガ出來マスレバ直チニデモ實行致シタ
イ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山本委員 先程ノ十二年度カラ著手出來
ナイ理由ト云フノハ、ドウモ能ク分リマセ
ヌガ、寒地デアルカラト云フコトト、乾燥
ガ困難デアルト云フコト、又出來ルト云フ
コトハ確カデアルガ、恐ラク實際ノ工業ト
シテノ研究ガ積ンデ居ラスノデアラウト思
ヒマスガ、ソレダケノ理由デアリマセウカ、
モウ一遍伺ヒタイ

○荒井政府委員 大體ソレダケニ盡キルト
思ヒマス、尙ホ技術上ノコトガアリマスレ
バ中兼ネマスガ、技術上ニ付テハ、實際ノ

工場ヲ造ル上ニ於テ、作業上ニ研究ノ必要
ガアルト思ヒマスガ、更ニ研究シナケレバ
ナラスト云フコトデモナイカト思フデ居リ
マス、一寸申上ゲマス、尙ホ技術上ノ點ニ
付テハ不完全ナコトガアルカモ知レマセヌ
カラ、技術官カラ申上ゲテモ宜ケレバ申上
ゲマス

○山本委員 イヤ宜シウゴザイマス、私ハ
此問題ヲ一寸伺ッテ置キタイコトハ、過日
豫算委員會デアツタカ、分科會デアツタカ、
問答ガアツタヤウデアリマスガ、昨年ノ此
計畫ガ世間ニ御發表ト申スカ、洩レタ時分
ニ、當時北海道長官初メ、非常ニ其馬鈴薯
ヲ除外シテ居ルト云フノデ心配シマシテ、
政府當局ニ隨分ウルサク質問シタ筈デス、
私ハ一遍モ行ツタコトハナイガ、其責任ア
ル報告ヲ聞イテ見マス、最初ハ馬鈴薯ハ
此工業ニハ不適當ダト云フコトヲ御話ニ
ナツタ、或人ノ如キハ斯ウ云フコトヲ言ハレ
タ、是ハ新聞ニモ出テ居リマスシ、直接本
人カラ聞イタノデスカ、學者、技術家等
ヲ集メテ隨分研究シタ、今日ノ權威者鈴木
博士ノヤウナ人モ出タト云フコトデアリマ
スガ、斯ウ云フ醸造方面ノ權威者ヲ集メテ
ヤラレタノデ、大藏省ダケノ何デハナイ、
其意見ニ徵スルト云フト、一人トシテ此馬

鈴薯ヲ原料トスルコトニ賛成ヲシタ者ハナ
イト云フコトヲ、ドナタカガ仰シヤッタト
云フコトデ非常ニ心配ヲシテ、ソレカラ北
海道ノ工業試験場デハ之ヲ研究シテ居リマ
スカラ、態々電報デ其試験場長ヲ呼ンダリ、
役人ヲ呼ンダリシテ、北海道廳デ調べタ所
ガ、ドウモサウ云フ筈ハナイ、價格ハ少シ
高イケレドモ原料ハウントアル、ソナコ
トハナイト云フ話ニナッテ、大分一時心配シ
タコトガアリマスガ、是ハドウモドナタガ
仰シヤツタカ、言ツタコトハ事實ラシイガ、其
當時ノ吾々ノ判斷デハ、ヤハリ政府ハ初メ
此工業ニ馬鈴薯ヲ用ヒナイト云フ考デアッ
タ、段々喧シクナッテ、調べテ見レバ、甘諸ダ
ケデハ足りナイカラ、無論將來ハ馬鈴薯モ使
ハナケレバナラスト云フノデ、十二年ニヤラ
ナケレバナナイト云フダケデナシニ、實
際工業トシテノ御調べガナカッタヤウデア
リマスガ、此點ニ付テハ長官ヨリモ寧ロ醸造
試験場ノ方ガ、一體技術的ト申スカ、試験室
デナクテ、工業的ノ實驗ヲ爲サツテ、馬鈴薯
ヲ「アルコール」ニ使フコトガ、專賣法トシ
テハ不適當デアルカドウカ、斯ウ云フコト
ニ付テ、是ハ一年ヤ半年ノ試験デハナイト
思ヒマスカラ、大藏省ハ馬鈴薯ニ對シテ一
體ドウ云フ御試験ガアツタカ、之ヲ一ツ伺ッ

テ置キマス

○荒井政府委員 一寸私カラ一言申上ゲタイガ、是ハ此計畫ノアリマシタ時ニ、調査局デモ随分議論シタノデアリマス、其時ニ馬鈴薯モ十分議論シタ、ソシテ經濟上ノ問題デアルト云フコトニ歸著致シタノデ、サウ云フコトガアッタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○黒野專賣局技師 只今專賣局長官カラ御答ニナッタヤウデアリマスガ、單ニ技術上カラ觀マシテ、馬鈴薯ガ甘諸ヨリ適シナイト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、時々妙ナコトヲ言フ人ガアリマシテ、甘諸デハ飴ノ方ハ行クガ、馬鈴薯デハ飴ノ方ハ行カヌ、私モ間接デスガ、サウ云フ評判ヲ聞イタコトガアリマス、ソコデ早速試験工場ニ頼ミマシテ、馬鈴薯デモヤッデ見タノデスガ、寧ロ醸造ノ方面カラ行キマス、甘諸ヨリ馬鈴薯ノ方ガ大變「アミノ」菌ガ能ク繁殖スルノデアリマス、是ハ政友會控室デ先達ッデモ申上ゲタヤウナ譯デアリマスガ、醱酵ノ工合ハ甘諸ヨリモ宜イノデス、唯技術上ノ缺點ト申シマスカ、泡ガ餘計ニ立ツ、泡ガ非常ニ出マスノデ、「タンク」ノ餘裕ヲ十分ニ見テ置カナケレバナラス、是ガ醱酵ノ方ノ缺點デアルト云フコトヲ御話申上ゲタノ

デアリマス、ソレカラ唯私共カラ考ヘマス

ノハ、ヤハリ技術上ト申シマスガ、單價ヲ成ベク安ク「ガソリン」ト云フ相手がアルモノデスカラ、唯「アルコール」ガ出來レバ宜イデヤナク、出來レバ「ガソリン」ノ價格ニ近イト云フコトヲ申サレマス、甘諸ト馬鈴薯ノ含シデ居ル澱粉價ニ比シテ、馬鈴薯ガ割高ニナルノデアリマス、例ヘバ甘諸ノ方ハ、御承知ノ通り澱粉二十五「パーセント」バカリ含シデ居リマスノガ、先達テノ御話デアリマス、一貫目七錢ト云フ御話ガアリマシタガ、馬鈴薯ノ方ガ一貫目六錢位シマスノニ、中ニ含シデ居ル澱粉量ガ十二三「パーセント」、餘程宜イノデ、十五六「パーセント」位ノ見當デアリマスカラ、是カラ換算致シマス、殆ドリマス割高ニナルノデアリマス、一石當リノ生芋ノ所要量カラ申シマシテモ、甘諸デアリマス、三百二十貫カラ、極ク悪いモノデモ五六十貫マデト思ヒマスガ、馬鈴薯デアリマス、五百五十貫内外ト云フコトニナリマスカラ、ソレデ價格ノ方デ原料費ガ非常ニ高ク付クト云フコトヲ一番心配致シマシタ、ソレカラ第二ノ問題ハ、一年中生芋デヤレルカト云フコトデアリマシテ、是ハ外國ノ馬鈴薯地方デハ、一年中夏暑イ

ト云ッテモ、御承知ノ通り冬服デ通セル所モアリマス、日本ノ東北地方、北海道地方ト申シマス、中々夏暑イ、雪解ケ後ニ於テハ直グ芋ガ腐ルト云フコトヲ皆言ハレマス、デスカラドウシテモ生芋デ一年中ヤルコトハ出來ナイ、隨テ一部分ハ乾燥芋ニシナケレバナラス、乾燥致シマスノハ中々困難デアル、北海道ノ私共ノ友人デ、道廳ノ技術者ニモ私ガ數回會ヒマシテ聽キマシタガ、アチラデハマダサウ云フコトハヤッデ見テ居ラスカラ、今年一年一ツ馬鈴薯ガ北海道デ何箇月頃マデ貯藏出來ルカ、何箇月頃マデ乾燥スルカ、ソレカラ實際澱粉ノ含量カラ、ドレダケ「アルコール」ガ取レルカト云フヤウナ工合、收穫量ヲ少シ増スヤウナ研究モヤッデ見タイト云フコトヲ申シマシタ、收穫量ヲモウ少シ増スコトガ原價ヲ安クスルコトニナリマスカラ、斯ウ云フコトモ研究シヨウト云フヤウナ話デアリマシタカラ、ソレデハ極力研究シテ貰ヒタイシ、自分等ハドウモコッデ馬鈴薯ノ栽培等ノ試驗ガ出來マセヌモノデスカラ、北海道廳ノ方ニ御願スルヨリ仕方ガナイモノデスカラ御願ヲシテ、サウ云フコトガ十分目當ガ付キマシタラ僕等モ是非馬鈴薯デヤリタイト思フノダ、其間ニ私達モ馬鈴薯ノ方ハ是

ハドウモ農民ノ方ニヤラセルコトハ出來ナイカト私ハ想像シテ居リマス、何故カト言フト農民ガ甘諸デ作ル場合ニハ唯切ッテ乾セバ宜イノデアリマスガ、馬鈴薯ノ方ハ切ッテ乾ス間ニ汁ガ澤山出テ來マス、其汁ハ二割位ハ少クトモ澱粉ガ逃ゲテ行キマス、ソレデ全部ノ損失ヲ見マス、農民ノ方モ非常ナ損失ニナリマス、サリトテ其汁ヲ運搬シテ賣ルト云フヤウナコトモ、夏ハスル譯ニイキマセヌカラ、腐ッデシマヒマスカラドウシテモ是ハ或所ニ集中シテ手切りデハナク機械デ切ル、例ヘバ御承知カモ知レマセヌガ、アノ帶廣ニアル製糖會社ノ砂糖大根ヲ切りマスガ、僅力數時間デ何万貫ト云フモノヲ切ッデシマフ、サウ云フ便利ナ機械モアリマスカラ、早速サウ云フモノモ取寄セマシテ、サウシテアア云フヤウナ機械ヲ据付ケテヤッタ宜カラウト云フノデ、アレハ皆亞米利加カラ來タ機械デアリマスカラ内地デ造ッテヤラウト云フノデ、見積書ヲ取ッテ今デモ極力調査ヲ續ケテ居ルノデアリマス、斯様ナコトデスカラ御諒承ヲ願ヒマス

○山本委員 今ノ御説明ヲ聞イテ、益、私ガ最初ニ申シタヤウニ馬鈴薯「アルコール」ト云フコトニ付テハ、ホンノ最近ノ研究デ、

別ニ醸造試験場デ特ニ研究ヲ爲サツト云フコトガナイト云フコトガ分ツタ、例ヘバ今ノ「シュガー・ビート」ノ原料ノ如キハ御承知ノ通りノ非常ニ大キナ目方ノモノデア、サウシテ其水分モ殆ド同等カ同等以上ノモノデセウ、ソレヲ有ユル方面カラ汽車デ持ッテ來ル、アア云フ大工場ガ四ツニナリマスガ、現在デモ二大工場ガアル、吾々机上デ考ヘテ見テモ其點ニ付テノ心配ハナイ、ソレハアナタ方ノ方デ御研究ニナルト云フコトハ十分ヤッテ貰ヒタイガ、サウ云フコトヲ初メノ間ニ之ヲ考ノ中ニ入レナイデ置イテ、喧シクナツテ來テ少シ調ベタト云フヤウナ風説ガアル、最近ハ甘諸デヤルト云フ御調デスガ、御調ヲ見テモサウナツテ居ル、所ガ私ハ今一時間足ラズノ御尋デアリマスガ、是カラ他ノ諸君ガ御尋ニナルデセウガ、段々問詰メテ行クト、甘諸ノ原料ト云フコトハ不安ト云フコトニナリマス、是ハ甘諸ノ澱粉ダケデハドウシテモ出來マセヌ、出來タラ他ノ方ノ産業ニ大シタ影響ヲシマスカラ、ドウシテモ他ニ原料ヲ求メナケレバイケナイ、斯ウ云フコトニ付テハ初メニ御考ニナラナカッタノダラウト思フガ、今ハサウデヤナイト仰シヤルカラ結構デスガ、ソコデモウ一ツ御尋シタイコトハサ

ウ云フ關係デアレバ何デモナイコトデアアルカラ十二年度ニヤレバ出來タノデスケレドモ、ドウモ調査不十分、又ハ技術家モコッチニ居ラス、色々ナ理由由デ今年ハ問題ニナラナカッタ、切羽詰ッタ今カラ東北、北海道ノ馬鈴薯ヲヤルト云フヤウナコトハ事實上ナリ、事務上ニモ不可能デセウ、唯今政府ノ御答辯ノ中ニ十分認メテ居ルカラ、此夏ニ北海道ヲ見テ調査研究ノ上デ決定ヲスルト云フヤウナ、極メテ頼リナイヤウナ、所謂今ノ内閣ノ常習的答辯デアアル研究中ト云フ答辯デアアルガ、斯ウ云フ常習的ナ答辯デハ甚ダ何ダカ物足りナイ、サウ御答辯ニナツテ御方針ガ決ラヌノハムヅカシイ點ガアルノカ、モウソソナムヅカシイ調査ハナイノデアリマスガ、モウ一遍御答辯願ヒマス

○荒井政府委員 十三年度ニ付キマシテハ總テ十三年度ニ斯ウスルト言フコトハ、私トシテハ申兼ネルト思ヒマス、増産計畫ヲ道廳トモ打合せ申デアリマスカラ、ソレニ依リマシテ是ダケノ材料ガ幾ラ要ル、ドノ位ノ規模ガ宜イト云フコトガ決リマスレバ、豫算ニ要求スルト云フヤウニ致シテ見タイト思ッテ居リマス、ヤハリ或ル意味ニ於テ調査研究中ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○山本委員 御方針ガサウ云フ御方針デアレバソレマデデスガ、是カラ一年掛ッテ此夏中掛ッテ調べナケレバナラヌト云フムヅカシイ調べデヤナイト思ヒマス、現在デモ北海道廳デ非常ニ大キナ設備デヤツテ居ルカラ、一體ドノ位ノ増産ガアル、各府縣ノ方ニ照會シテモ其資料ガ來ル、幾ラデドノ位獲レル、北海道廳デモ、東北各縣デモサウデスガ、ドレ位ノ芋ノ増産ガ出來テ、幾ラマデハ出來ルト云フコトハ、人ヲ派遣シテヤルト云フコトデハナイ、一朝一夕ニ出來ル、唯技術的ニ氣候ノ關係ガアルト云フノデ、ソレハ實際ハ研究シテ見ナケレバナラヌト、斯ウ思ッタノデスガ、ドウモ原料ニ付テノ御研究ガ農林省ノ方面ニ於テモ足りヌシ、又大藏省ノ方ニ於テモ之ヲ看過シテ居ル、斯ナ現狀デ御答辯ニナツテ居ルト云フコトデアリマスカラ、ドウモ此「アルコール」專賣法ト云フモノハ非常ナ缺陷ガアルト思フノデアリマス、尙ホソレ等ノ點ニ付キマシテハ、他ノ諸君カラ何レ御問ニナルコトト思ヒマスカラ、是以上御伺致シマセヌガ、最後ノ御答辯デハ物足りナイ、ソコトヲ半年モ掛ッテ調べナケレバナラヌコトデヤナイ直グ分ルコトデアアル、北海道ヤ、東北ニ行ッテ分ルノデハナイ、現ニ農林

省ハ此處ニ全國ニ互ッテ御調ニナツテ居ル、サウ云フコトハ非常ニドウモ大藏省ノ御方針ガ、冷淡トマデハ申シマセヌガ、調べガ行届イテ居ラスト思ッテ居リマス、兎ニ角取敢ヘズ甘諸デヤル、取敢ヘズ法案ト言ハナケレバナラス、材料モ取敢ズダシ、根本モ初ハ馬鈴薯ガ駄目ダト言ッタノニ、段々良クナツテ來タ、良クナツテ來タ所デハナイ、吾々ノ論法デ言フト馬鈴薯デナケレバナラナイト云フノデアリマスガ、是カラ研究スルト何時マデ掛カルカ分ラナイ、勿論來年度ノ豫算デ、アナタ方ガヤルト云フヤウナコトハ言ヘナイシ、又言ッタ所デ信用出來ヌ問題デアアルノデアリマス、大體ノ方針ハモウ少シハッキリ昭和十九年度マデノ計畫デアルカラ凡ソドウ云フコトヲスルカト云フコトヲモウ少シハッキリ願ヒタイ、御答辯ヲ強要スルノデハアリマセヌカラ、私ハ私ノ之ニ對スル解釋ヲ加ヘテ、他ノ機會ニ御答辯ガアレバ此委員會中ニモウ一應伺フカモ知レマセヌガ、ドウカ其邊ハ十分政府委員ニ於テモ吾々ノ得心ノ行クヤウナ御答辯ヲスルヤウニ一ツ御運ビヲ願ヒタイト思ヒマス、デハ私ノ質問ハ一先ヅ打切りマシテ、只今留保シタ點ニ付テハモウ一遍御尋スルカモ知レマセヌ

○荒井政府委員 馬鈴薯ハ原料トシテ重要

ナモノト云フコトハ常ニ考ヘテ居リマス、又之ヲ使ッテヤリタイト云フ方針デアリマス

○信太委員長代理 ソレデハ山本君ノ質疑

ハ是デ——マダ留保ノ部ハゴザイマスガ、大體是デ終了シタト思ヒマス、就テハ三善君ニ御聽キシタイノデスガ、アナタハ此前留保サレテ居リマスガ、是カラ續ケテヤリマスカ

○三善委員 山本君ノ質問ニ關聯シタ質問

ガアルサウデスカラ、東條君ノ方ニ御許シヲ願ヒタイ

○信太委員長代理 ソレデハ東條君ニ許シマス

○東條委員 山本君カラ原料問題ニ付テ色

色御聽キニナツタノデアリマスガ、此原料ノコトニ關シテ私モ少シ伺ッテ置キタイコトデアリマス、將來ノ増産計畫ヲ大體伺ッタノデアリマス、所ガ先般御渡シニナリマシタ資料ヲ見マスルト、甘藷ノ現在生産サレテ居リマスルモノノ殆下全部ト云ッテモ宜イ位澱粉ニ造ラレテ居リマスモノハ僅ニ五%カ六%デアッテ、アトハ殆下芋ノ儘デ需要サレテ居ル、是ハ主トシテ農家自身或ハ消費地ニ於キマシテモ細民ノ食糧ニ充テラレテ

居ルト云フヤウナ次第デアリマス、國ガ酒

精ノ製造ヲ始メル、之ニ原料トシテ甘藷ヲ使フ、斯ウ云フコトニナリマス、私が聞イテ居ル所デモ、隨分工場ガ欲シイ爲ニ色々工場設置ノ運動ナドモアルト云フコトヲ聞及ンデ居リマスガ、生産者ノ方カラ言ヘバ、自家用トシテ生産シマスルモノハ別ト致シマシテモ、ヤハリ農民ハ値段ガ安ケレバ作ラヌト云フコトニナル、相當ナ値段デナケレバ作ラヌ、サウ致シマス増産ト云フコトハ一面カラ言ヘバ強制的ニ作ラセルコトハ出來ナイノデアリマスカラシテ、原料芋ノ價格ヲ相當ナ程度ニ維持スルト云フコトガ必要ニナツテ來ルノデアリマス、現在デモ農民ハ商人ノヤウニ算盤高クハアリマセウケレドモ、マアサウ甚シイ生産額ノ消長ハナイノデアリマシテ、現在ニ於キマシテモ大體ニ於テ芋ハドレダケ作ル、麥ハドレダケ作ルト云フヤウナ銘々見當ヲ付ケテヤッテ居ルノデアリマス、新シイ土地ヲ開イテ作付ケラセシメルト云フコトニナレバ別デアリマスカレドモ、現在ノ作物カラ轉換サセルト云フコトハ、現在作ッテ居ル物ヨリモ芋ヲ作ッタ方ガ幾分デモ有利デアルト云フ條件ガアッテ初メテ轉換シ得ルモノダ

ト思ヒマス、サウ致シマス、原料甘藷ノ

作付ケラ獎勵シマスル爲ニ、結局原料ノ値段ガ幾分デモ上ッテ來ル、殊ニ新墾地ヲ殖ヤスト云フコトガ容易デナシ、又先刻山本君ノ御話ノヤウニ、急ニ三割モ四割モ増産サセヨウト云フコトモ中々不可能ナコトデアリマス、農事試驗場アタリノ試驗畑デハドウダカ知ラヌガ、實際ニ於テハ中々サウハ行カナイ、サウシマス結局價格ノ吊上ニナル、價格ノ吊上ニナレバ現在經營サレテ居リマス澱粉或ハ餡トカ云フヤウナ事業ニ非常ナ打撃ヲ與ヘル、又價格ガ昂騰フスル、サウシテ其方面デハ國內産業ノ方ガ衰ヘテ、輸入品ガ流通シテ來ルト云フヤウナ結果ニナリハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、原料ノ價格ニ付テドウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○荒井政府委員 原料ノ價格ヲ決メマスニ

付キマシテハ、只今御話ガアリマシタヤウニ、隨分各方面ノコトヲ考ヘテ決定致サナケレバナラナイノデアリマス、中々苦心ガ要ルコトト考ヘマス、一方デ高ク吊上ゲルト云フコトニナリマスレバ、外ノモノニ非常ニ影響ヲ及ボシマスシ、又生産者側カラ言ヘバ、ソレハ出來ルダケ高クシテ貰ヒタイ

ト云フコトニナルノデアリマス、先ヅ現在

ノ各種ノ原料ニモ影響ヲ及ボサヌヤウニ、又食糧等ニモ影響ヲ及ボサヌヤウニト云フコトヲ考ヘマシテ、將來ノ増産計畫ヲ當テニシテ茲ニ考ヘテ居ルノデアリマス、當初ハ先ヅ大體豫算ニ於テハ一貫目、七錢ト云フ豫定ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス

○東條委員 私ガ伺ヒマシタノハ、一貫目

七錢トカ八錢トカ六錢トカサウ云フコトデハナイ、ズツト原料ノ價格ヲドウ云フ方策デ維持シテ行ク、又暴落スレバ作ラナイノデアリマスカラ、暴落サセテモイカヌシ、又暴騰サセテモイカヌ、之ヲドウ云フ方策デ年々定メテ行ク御方針デアアルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○荒井政府委員 是ハ他ノ作物、他ノ原料

タル芋ニ影響ヲ及ボサセヌト云フコトハ中困難ナコトデアアルカモ知レマセヌガ、併シ此作リマシタモノニ付キマシテハ大體政府ハ一定ノ價格ヲ以テ買フト云フコトニ致スノデアリマシテ、翌年度ニ於キマシテ幾ラノ數量ガ要ル、ソレハ幾ラノ價格ヲ以テ買フト云フコトヲ前年ニ於キマシテ決メマシテ、農會、産業組合等ヲ經マシテ稍々契約栽培ト云フヤウナ形ニ致シマシテ、一定ノ數量ヲ確保スル、假令芋ノ價格ガ下リマシテ

モ、其價格デ賣ツテ貰フ、又芋ノ價格ガ上リマシテモ其價格ヲ以テ賣ツテ貰フト云フコトニ致シテ、一年間ノモノヲ前年ノ末ニ於キマシテ纏メテ買フト云フ約束スル、斯ウ云フコトニ致シタイト思ッテ居リマス

○東條委員 今ノ御話ノヤウナコトハ「ビート・シュガー」ノ原料ヲ作りマス北海道デハヤッテ居ルノデアリマス、幸ヒニアレハ専門的ニ製糖ニバカリ使ハレルモノデアリマスカラ、マア比較的ニ旨ク行ッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、昨年ノ如キ、「ビート」耕作組合ガ「ビート」ヲ作ラスト云フ申合セヲ致シマシテ、非常ニ困ッたりシテ居ルヤウナ譯デアリマス、年ニ豊凶アリデ、ヤハリ一定ノ收穫量ヲ豫想シテ或ル反別ノ契約ヲサレマシテモ、若シ豐作デアレバ餘ル、凶作デアレバ足りナクナル、假ニ豫想ダケノ收穫ガナカッタト云フ時ニナリマスト、國ノ事業トシテ一工場二万石ナラ二万石ノ豫想ヲシテ、ソレダケノ設備ヲシテ造ッテ居ラレルト云フコトニナリマス、ドウシテモソレニ必要ナダケノ原料ヲ取入レシケレバ製造者ノ責任ガ果セスト云フコトニナル、此場合ニ契約ノ値段ヨリ上ゲナイデ原料ヲ得ヨウト努力サレマシテモ、ソレハ全然不可能ナコトダト思ヒマス、ソレデ

値段ヲ上ゲテ必要ナモノヲ取入レルト云フコトニナリマス、他ノ方ニ非常ナ影響ヲ及ボシマシテ、他ノ芋ヲ原料トシテ使ヒマسمモノ及ビ多數ノ細民ノ生活マデ影響ヲ及ボスト云フコトニナッテ參ルノデアリマス、ソレカラ多少ノ不作ヲ見越シテト云フ意味デ必要以上ノ反別ニ耕作契約ヲシテ居リマスカラバ、多ク出來マシタ場合ニハ、ソレヲ皆取ッテヤレバ宜イノデアリマスガ、取ッテヤラナイト云フト農民ハ非常ナ迷惑ヲスルト云フコトニナル、是等ノ點ニ付テノ伸縮ハドウ云フ風ニ爲サル御考デアリマスカ

○荒井政府委員 只今東條委員ノ御話ハ洵ニ御尤デアリマシテ、是ハ「ビート」糖トカ、煙草ト云フヤウナ事業ト言ヒマスカ、其外ニ使ヘナイモノデアリマスレバ、是ハ大變樂デアリマスガ、芋ノヤウナモノニハ他ノ用途ガ澤山アリマスノデ、政府ノ購買價格、或ハ其維持ト云フコト、又其數量ノ確保ト云フコトハ餘程困難ダト思ヒマスガ、併シソレハヤハリ只今申シタ方法ニ依ッテ實行スルト云フコトヨリ致シ方ナイト考ヘマシテ申上ゲタノデアリマス、ソコデ豐作ノ場合ニハヤハリ是ハ幾ラト決メマシテモ、多少ノ豫備ト云フコトモ政府トシテハ必要デアリマスカラ、或ハ倉庫ノ許ス限り

ニ於テ豫備ヲ持ツト云フコトニナル適宜ノ計ヒモ致スモノト思ヒマス、又非常ニ足りナイ、其場合ニ食用ニモ亦影響ヲ及ボスト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハ不經濟デハアリマシテモ、政府トシテハヤハリ作業ヲ少クスル、サウスレバ「アルコール」ガ足りナクナルデヤナイト云フコトデアリマスカ、是ハ混用率ヲ加減シマスカ、或ハ混用ニ付キマシテノ豫備ヲ持ッテ居リマシテ、ソレデ加減スルト云フ方法ヲ採ルヨリ外ニ方法ハナイカト考ヘテ居リマス

○東條委員 ソレカラ原料ノコトデモウ少シ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、一體主トシテ甘藷ニ付テノ御研究ダケガ出來テ居リマスルヤウデアリマスルガ、斯ウ云フ燃料國策、殊ニ非常時ト云フモノヲ眼先ニ見テノ燃料國策トシテノ計畫デアリマスルカラ、原料ヲ一ツノモノニ依ルト云フコトハ、萬一ノ場合ヲ考ヘマシテ非常ニ危險ガ多イト思ヒマス、ソコデ出來マスカトナラバ、原料ノ範圍ヲ廣ク致スト云フコトガ必要ダト思ヒマス、山本委員ノ御尋ニナリマシタ馬鈴薯ナドモ其一ツデアリマスガ、更ニ玉蜀黍ト云フコトニ付テノ御研究ガドウデアリマセウカ、又釀造技術ノ上カラ芋ヲ原料トスル工場デハ玉蜀黍ハ使ヘナイト云フコ

トニナルノデアリマセウカ、又ドチラヲモ使ヘルノデアリマセウカ、ソレカラ若シ同ジ設備デハイケナイト云フノデアレバ、ヤハリ設備ハ別ニナリマシテモ、斯ウ云フモノモ追々原料ニ使ッテ行クト云フヤウナ御考カ、詰リ別ナ用式ノ施設ヲスルト云フヤウナ御考ガアルノカナイノカ、其點モ伺ッテ置キマス

○荒井政府委員 原料ノ範圍ヲ廣クスルコトハ、是ハ吾々トシテモ努メタイト思ヒマス、玉蜀黍ガ使ヘルカドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ澱粉質モ多イノデアリマシテ、適當ノモノト思ヒマス、唯今日價格ノ問題デ是ガ使ヘナイト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ技術上設備ヲ別ノモノニ致スカドウカト云フコトハ技術者カラ御答致サセマス

○黒野專賣局技師 玉蜀黍ヲ原料ニ使ヒマス場合ニハ、現在計畫シテ居リマスル芋ヲ製造スル機械デ、全部同ジデ、何モ別ノ設備ヲシナイデ製造ガ出來マス、玉蜀黍ダケデアリマセス、他ノ穀類全部左様ゴザイマス、モウ是ハ燒酎會社ナドデハ既ニ玉蜀黍ヲ澤山使ッテ居リマスカラ御存ジデゴザイマセウカ、芋ヨリモ玉蜀黍ガ遙ニ製造シ易ウゴザイマシテ、取得率モ澱粉ニ比例シ

テ玉蜀黍ノ方ガ宜シウゴザイマス、唯今長官カラ申サレマシタヤウニ、價格ノ點デ此處ニ計上シテナイノデアリマシテ、設備ハドノ原料ヲ持ッテ來テモヤレルヤウニ極力準備シテ居リマス

○東條委員 價格ノ點デ、甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍デ大變利不利ガアルト云フ御話デアリマス、專賣局トカ、或ハ此計畫ヲサレマシタ中央ノ方デノ御調ハマダ馬鈴薯ナンカニ付テハ一向出來テ居ナイヤウデアリマスルガ、北海道ノヤハリ國ノ機關デ調べマシタ所ニ依リマスルト、馬鈴薯ナンカノ調ハ非常ニ詳シク出來テ居リマス、ヤハリ種類別ニ、サウシテ品種別ニ澱粉ガドレダケ取レルト云フコトガ非常ニ詳シク出テ居リマス、此表ヲ拜見シマスと云フト馬鈴薯ガ一七%半ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、ヤハリ種類ニ依リマシテ、例ヘバ神谷薯一號ト云フノハ二〇%モ含マレテ居ルト云フヤウナ調モ出テ居リマス、殊ニ玉蜀黍デアリマスルガ、玉蜀黍ノ澱粉ハ御承知ノ通り馬鈴薯、甘藷ナドノ澱粉ト市場デ角逐ヲ致シテ居リマシテ、動トモスルト云フト、甘藷、馬鈴薯ノ澱粉ガ押負ケルヤウナ狀態デアリマス、澱粉ニ關シマシテハ權威者ノ岩瀬君ガ居ラレマスカラ、私カラ餘リ申上ゲマセ

スガ、此點カラ見マシテモ行キ方ニ依ッテナラバ必シモ價格ノ點ニ於テ絶對ニ不可能ナリトハ言ヘヌノデヤナйкаト考ヘルノデアリマス、ソレカラ玉蜀黍ハ無論寒地ノ植物デアリマシテ、是モ研究ヲ永年ヤッテ居ル人ノ話ヲ聞キマスルト、海拔二千尺以上ト云フヤウナ所ニ作リマスと、全然肥料ヲ施サナクッテ相當ノ收穫ガ得ラレルト云フノデ、原産地及ビ亞米利加其他ノ方ノコトヲ能ク調査ヲシテ——主トシテ「コーン・フ」ラワー——ヲ目標トシテ居ルヤウデアリマスガ、内地ノ耕地ノ未開墾ノ草原地ナドヲ開墾シテ、此玉蜀黍ヲ作ラウト云フ研究ナドヲシテ居ル、大分話ガ進ンデ、近クサウ云フ會社ガ出來ルトカ、出來タトカ云フ話ヲ聞イテ居リマス、原料ト云フ問題カラ言ヘバ、斯ウ云フ方面モ御研究ニナルコトガ必要ダラウト思フノデアリマス、燃料國策ト云フ上カラト、一面ニハ農村對策ト云フ二ツノ方面カラノ御計畫ノヤウニ思ヒマス、サウシテ此原料ハ殆ド農民ガ供給スルモノデアル、ヤハリ農村對策ト云フ點カラ農家ノ作物ノ配合ノ上カラ御考下スッテ、東北、北海道ノ如キ寒地デ、ドチラカト申シマスルト、穀類ヲ穫ルノニ非常ニ困難ナ——例ヘバ玉蜀黍ノヤウナ特ニ寒帶ニ適シタ穀物

ハ別デアリマスガ、普通ノ穀物ノ穫レナイ、根菜デナケレバ穫レナイト云フヤウナ方面ノ農村ニ對シマシテハ、ヤハリ根菜類ヲ獎勵スル、サウシテソレニ依ッテ農業ノ經營ヲ立タシテ行クト云フコトガ必要ナノデアリマシテ、北海道ニ「ビート・シュガー」ノ工場ヲ計畫セラレタト云フノモヤハリ此主旨カラデアリマス、馬鈴薯ヲ原料トセラレマスルコトハ此計畫ヲ立テラレマスル半面ノ目的デアリ、農村對策ト云フ上カラ大イニ御考ヲ願ハナケレバナラスコト思ッテ居リマス、ソレカラ又増產計畫ト云フ上カラ行キマシテ、種子ノ改良、ソレカラ耕作法ノ改善、反當收量ヲ殖ヤスト云フ見地カラ致シマシテモ、亦反別ヲ擴張スルト云フ上カラ致シマシテモ、詰リ轉換ト云フ上ト、新墾ト云フ上カラト、ドチラカラ見マシテモ非常ニ裕リノ多イノハ東北、北海道方面ダラウト考ヘマス、斯ウ云フ方面ニ付テ特ニ御研究ヲ希望スル次第デアリマス、ソレカラ今一ツ原料ニ關シマシテ伺ッテ置キタイコトハ、本日頂戴シマシタ資料ヲ拜見致シマスルト、先般三善委員カラ御質問ガアツタコトニ付テ氣付キマシテ資料ノ御提出ヲ願ッタノデアリマスガ、内地デ從來生産サレテ居リマスル數量ハ非常ニ少クテ殆ド臺灣

カラ來ル狀態ニナッテ居リマス、十二年度ニ於テ臺灣カラ四万石ダケ無水ノ方ヘ御使ヒニナルト云フコトデアリマスガ、而モ臺灣ニ於ケル原料、詰リ糖蜜ト云フモノガ砂糖ノ製造ト比例スル關係上、是カラ四万石ト云フモノヲ取ラレルト云フコトニナレバソレダケヲ補充スルコトハ困難デアルト云フコトニナルダラウト思フノデアリマスルガ、此不足ヲドウシテ補ハレル御考デアリマセウカ、一寸私共考ヘマスルト、此表ニアリマスルヤウナ狀態ノ所ヘ四万石ヲ臺灣デ取り、二万石ヲ内地デ取ルト云フコトニナリマスルト、工業用其他ノ酒精ト云フモノハ非常ニ缺乏ヲ來ス結果ニナルノニ考ヘテ是ノ補充、殊ニ原料ト云フモノニ付テハドウ云フコトヲ御考ニナッテ居ルカ、ソレヲ伺ッテ置キタイ

○荒井政府委員 玉蜀黍ニ付テハ十分調査致シマス、成案ヲ得マスレバ使用シタイト思ヒマス、混用法ノ實施ニ伴ヒマシテ、内地ノ酒精ノ生産力ト云フコトカラ臺灣ノ問題モ起ッタノデアリマスガ、是ハ三善委員カラノ御尋モアリマシテ、全體ニ付テ一應私ノ昨日ノ説明ハ非常ニ不完全デアッタト思ヒマスカラ御説明申シタ方ガ宜シイカト思ヒマス、尙ホ臺灣當局ニモ御要求ガアッタノ

デアリマスガ、只今殖産關係ノ方ガコッチヘ
來テ居リマセヌ、財務當局デハ其關係ガ説
明出來ナイト云フコトデアリマス、當事者
ガ此委員會ガ開カレテ居リマス中ニ參ルト
思ヒマスカラ其時ニ十分ナ説明ヲ致シタ
イト思ッテ居リマス、揮發油及ビ「アルコー
ル」混用法ト此專賣事業トノ關係デアリマ
スガ、揮發油及ビ「アルコール」混用法ガ
昭和十三年ノ四月一日カラ實行サレルト
云フコトハ度々申シテ居ルノデアリマス、
而シテ混用ハ此處ニ揮發油及ビ「アルコー
ル」混用法ノ附則ノ第二項ト云フノガアリ
マシテ、幾分施行ノ時期ニ猶豫期間ヲ置イ
テ居リマス、ソコデ其猶豫期間トシテ約二
箇月アルノデアリマスガ、併シ之ヲ混用ヲ
始メマスニハ賣渡シヲ前ニ致サナケレバナ
リマセヌノデ、酒精ノ賣渡シヲ致シマスル
ノガ、大體昭和十三年五月ノ中旬頃トナル
ト思ヒマス、ソコデ昭和十三年度デ要リマ
ス酒精ガ約十六万五千石ト云フコトニナリ
マス、之ニ對スル供給豫定ノ高ガ政府工場
分ガ十二年度度ガ二万石、ソレカラ十三年度
ガ十二万石、計十四万石デアリマス、其他
ノ委託製造分、是ガ民間製造工場ノ能力カ
ラ見マシテ、之ヲ四万石ト豫定致シテ居リ
マス、此點ガ昨日ノ説明ト幾分違ッテ居リマ

スガ、詰リ十二年度デ既ニ二万石ノ委託製
造ヲヤル積リデアリマシテ、十三年度ニ於
テ更ニ昨日申上ゲマシタガ新シイ二万石、
計四万石詰リ十八万石ノ内地製造ガアルト
斯ウ見テ居リマス、尙ホ樺太ニ於キマシテ
「バルプ」ノ廢液カラ造ル計畫ガアリマス、
是ハ僅カデアリマスガモウ機械モ註文ヲ致
シマシテ、十三年四月カラ製品ガ出ルト云
フコトヲ會社ガ申シテ居リマス、是ガ三千
四百石デスカコッチニ持ッテ來タイト云フコ
トデアリマス

ソレカラ臺灣ニハ只今糖業聯合會ト話合
中デアリマスガ、二万石乃至四万石ト云フ
モノヲ交渉致シテ居ルノデアリマス、是ガ
糖蜜トノ關係ガドウナルカト云フコトデア
リマスガ、是ハ私ガ申シマシテ又間違ガア
ルトイケマセヌノデ、臺灣ノ當局者ガ多分
明朝早く、前カラ參ル豫定ノ者ガ著ク管デ
アリマシテ、ソレガ參リマシテ御説明ヲ申
上ゲルコトガ宜シイカト思ヒマス、吾々ノ
希望トシテハ是ハヤハリ十三年ノ中頃迄ニ
ハ貫ヒタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデア
リマス、相當ノ餘裕ヲ以テ此計畫ヲ始メマ
セスト或ハ只今申上ゲタ數字ノ中ニモ入狂
ヒガ生ズルト思ヒマスカラ、出來ルダケ廣
ク手ヲ擴ゲテ準備ハ致シタイト考ヘテ居ル

次第デアリマス
○東條委員 三善君ノ留保サレタ質問ガ繼
續サレル管デアリマスカラ私ハイイ加減デ
止メタイト思ヒマスガ、一體此原料ノ生産
地トシテ最モ著目ヲシテ居ラレ、ソレカラ
本日ノ御答ノ中ニモ農林當局カラ是等ノ縣
ニ付テ主トシテ調べタト云フ御話ヲ承ッテ
居リマスル地方、此地方ハ成程非常ニ多量
ヲ産シテ居リマスルガ、ソレハ唯現在多ク
生産サレテ居ッテ其處ガ主產地デアルカラ
大ニ増産ノ餘地ガアルト云フ風ニバカリ考
ヘラレルコトハ間違ッタ考ヘ方デハナイカ
ト思フノデアリマス、現在多量ニ生産サレ
テ居リマスルコトハ、地味ニ適スル、或ハ耕
作ニ慣レテ居ルト云フヤウナ點モアリマセ
ウシ、同時ニ又ソレダケノ需要ガアリマス
ル爲ニソレダケノ生産ガサレテ居ルノデア
リマス、是ハマア利害關係ガ違フカラト言
ハレレバソレダケカモ知レマセヌケレド
モ、現在甘藷ヲ原料トシテ使用致シテ居リ
マスル方面ノ者カラ言ヘバ、此地方ニ酒精
工場ヲ設置サレルト云フコトハ、其從來自
分等ノ使ッテ居ル原料ヲ奪取サレル、工場ノ
設備ガ一工場二万石トシテ、ソレダケノ設
備ガ豫定ノ通り無論出來ルノデアアルガ、中
中其増産ト云フモノハソナニ机ノ上デ計

畫シタヤウニ出來ルモノデナイ、隨テ必然
的ニ其方ヘ奪ハレテシマフ、其縣バカリデ、
奪ハレテモ外カラ補給ノ途ガアルデヤナイ
カト御考ニナルカモ知レヌガ、外カラ補給
スルト云フコトニナレバ、品物ノ性質上相
當多額ノ運賃ガ掛ル、サウスレバ現在ソレ
ヲ利用致シテ居リマス所ノ者ガ非常ナル打
撃ヲ被ルト云フコトニナル、隨テ當局ノ方
デハ此處ラガ主產地ダカラ此處ヘ工場ヲ設
ケタイト考ヘテオキデニナル其場所ニ對シ
テ、一方カラハ工場ヲ設ケマシテハ困ルト
云フ叫ビガ起ッテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フ點カラ考ヘマシテモ、成程机ノ上デ議
論致シマス場合ニハ如何様ニモ出來マスケ
レドモ、一體農業ニ從事シテ居リマスル者
ハ其生活ノ上ニ於テ利ノアル所ヲ見テ轉々
ト動イテ行クト云フコトガ非常ニ不得手デ
アル、ソコガ農業ノ堅實ノ所デモアリシマ
スケレドモ、一面カラ言ヘバソコガ又農民生
活ノ改善ガ中々思ッタヤウニ行カナイ原因
ニモナリマセウガ、兎モ角モサウ轉換ヲサ
セルトカ仰シヤレバ、増産計畫ヲ立テルト
カ言ヒマシテモ、從來ノ實績カラ見マシテ、
中々サウ參ラスノデアリマス、「ビット」糖
ノ工場ニ付テモ北海道ニ十工場造ルト云フ
計畫デ最初出發セラレタモノガ、是ハ他ノ

畫シタヤウニ出來ルモノデナイ、隨テ必然
的ニ其方ヘ奪ハレテシマフ、其縣バカリデ、
奪ハレテモ外カラ補給ノ途ガアルデヤナイ
カト御考ニナルカモ知レヌガ、外カラ補給
スルト云フコトニナレバ、品物ノ性質上相
當多額ノ運賃ガ掛ル、サウスレバ現在ソレ
ヲ利用致シテ居リマス所ノ者ガ非常ナル打
撃ヲ被ルト云フコトニナル、隨テ當局ノ方
デハ此處ラガ主產地ダカラ此處ヘ工場ヲ設
ケタイト考ヘテオキデニナル其場所ニ對シ
テ、一方カラハ工場ヲ設ケマシテハ困ルト
云フ叫ビガ起ッテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フ點カラ考ヘマシテモ、成程机ノ上デ議
論致シマス場合ニハ如何様ニモ出來マスケ
レドモ、一體農業ニ從事シテ居リマスル者
ハ其生活ノ上ニ於テ利ノアル所ヲ見テ轉々
ト動イテ行クト云フコトガ非常ニ不得手デ
アル、ソコガ農業ノ堅實ノ所デモアリシマ
スケレドモ、一面カラ言ヘバソコガ又農民生
活ノ改善ガ中々思ッタヤウニ行カナイ原因
ニモナリマセウガ、兎モ角モサウ轉換ヲサ
セルトカ仰シヤレバ、増産計畫ヲ立テルト
カ言ヒマシテモ、從來ノ實績カラ見マシテ、
中々サウ參ラスノデアリマス、「ビット」糖
ノ工場ニ付テモ北海道ニ十工場造ルト云フ
計畫デ最初出發セラレタモノガ、是ハ他ノ

製糖業者トノ關係モアリマセウケレドモ、僅ニ一工場ニ對シテ四五千町歩ノ耕作面積ガアレバ宜シイノヲ、之ヲ殖ヤシテ四工場ニスルト云フコトニ付テハ、隨分長イ間ノ苦心ニ依ッテ指導獎勵シテ來タノデアリマス、サウシテ今日ニナッテ四箇工場ニナルト云フ時ニナッテ耕作者ノ方カラ作ラスト云フコトヲ言出スト云フヤウナコトガアリマシテ、中々サウ手輕ニ面積ヲ擴張シ、ソレカラ反當ヲ殖ヤシ、サウシテズン／＼伸バシテ行クト云フヤウナコトハ容易ニ出來ナイモノト思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテノ當局ノ考ヘ方ガ、ドウモ急ニ斯ウ云フコトヲヤラウト云フ思附デヤリ掛ケタノダカラ、何トカ數字ノ纏リヲ附ケナケレバイカスト云フヤウナ行キ方ノヤウニ私共ドウシテモ考ヘラレル、ソレデ今原料ノ生産地ト云フモノガ、之ニドレダケノ——主

産地デアルダケニ果シテ其處ニ十分ナル増産ノ餘地ガアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、私共非常ニ疑問ヲ持ツノデアリマス、寧ろ是ガ主産地ヲ當込ミニスル譯デナクテ、最初ノ内ハ多少運賃ガ掛ッテモ、廣イ範圍カラ集メルノデアルト云フコトデアリマスルナラバ、ソコニ又多少實行ノ餘地ガアリサウニ思ハレル點モアリマスケレドモ、主産地ナルモノヲ主トシテ當テニシテオヤリニナルト云フコトハ、非常ナル危險ガ伴フノデハナイカト考ヘルノデアリマシテ、此點ニ付テノ御考ヲ伺ッテ置キタイ

○荒井政府委員 只今御述ノ通り、此仕事ハ中々困難ナル仕事デアリマシテ、吾々ト致シマシテモ決シテ容易ナ仕事デアルトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、殊ニ當初ニ於キマシテ慣レヌ仕事、新規ノ仕事デアリマスカラ、十分ニ注意ヲ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ其土地ニ於ケル産業ノ關係モアリマスノデ、思掛ケヌ困難モ起ルカト思フノデアリマス、増産計畫ニ付キマシテモ、農林當局カラ御話ガアリマシタガ、吾々ト致シマシテハ少シ廣イ範圍ニ於テ十分ナル餘裕ヲ以チマシテ計畫ヲ立テ、戴キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、其積リヲ以テ打合セヲ致シテ居ルノデアリマス、只今ノ御注意ノ點ハ有難ク拜承致シマシテ、尙ホ能ク注意致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○信太委員長代理 東條君、宜シイデスカ
○東條委員 私ノハ外ニ澤山アリマスケレドモ、今ノ山本君ノ質問ニ關聯シテ原料ノコトヲ伺ッタノデアリマス、三善君ガ保留サレテ居リマスカラ、ドウカ其後デ……

○信太委員長代理 政府委員ニ御聞キシタイノデアリマス、臺灣方面ノ説明ヲスル政府委員トシテ此席ヘ來ル日ハ幾日位ノ御豫定デアリマスカ

○荒井政府委員 明朝此方ヘ着ク豫定ニナッテ居リマス、若シ明朝着キマスレバ明日ノ午前デモ説明ニ參リ得ルカト思ヒマス
○信太委員長代理 尙ホ委員長トシテ政府委員ノ方ヘ警告ヲシテ置キタイト思ヒマスガ、今マデノ委員諸君カラノ質疑ニ對シマスル政府ノ材料ノ非常ニ杜撰ヲ極メテ居ルト云フコトガ非難攻撃ノ的ニナッテ居ルヤウニ思ヒマス、次會ニ於キマシテハ、能ク色々ノ材料ナリ、或ハ説明ノ資料ナリヲ澤山御蒐集下サイマシテ、委員諸君ノ意ヲ充タスダケノ用意ト準備トヲ切ニ御願致シテ置キマス、吾々ハ此今ノ問題ガ解決スルコトガ國家ノ爲メトナレバ銳意夜分デモ會議ヲ續ケテ行キタイト思ヒマスルガ、何セ政府當局ニ其氣魄ガナク、單ニ一片ノ材料ヲ以テ此議事ヲ遂行シヨウト云フコトハ、委員トシテ洵ニ遺憾ヲ表スル次第デアリマスカラシテ、政府ニ於キマシテハドウゾ此點ヲ諒解サレマシテ、十分是ガ對策ヲ講ゼラレンコトヲ私カラ希望シテ置キマス、引續キ三善君ニ發言ヲ許シマス

○三善委員 只今東條君ノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタ酒精ノ無水「アルコール」ノ十三年度ニ於テ、政府ノ實施サレルノニ果シテ支障ガナイカト云フヤウナ質問ニ對シテノ御答辯ハ、私ガ前以テ御話シ又政府ノ御意見ヲ伺ヒマシタノト關聯致シマシテノ御答ダト思ヒマスガ、一應尙ホ私カラ伺ッテ置キタイト思ヒマス、私ニ對スル答辯ノ場合ニハ臺灣カラ四百万石取ル、内地デ二万石取ル、ソレデ支障ハナカラウ、斯ウ云フ御意見デアリマシテ、私ハ臺灣カラ四万石取ルナラバ工業用ノ原料ニ不足ヲ生ジハシナイカ、工業界ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシハシナイカ、斯ウ云フコトヲ懸念シテ、臺灣カラ四万石御取リニナルコトハソレハ實際ニ於テ移入ハ出來テモ、直ニ工業界ニ迷惑ヲ及ボス、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタガ、只今二万石乃至四万石ト斯ウ御答ニナリマシタノデ、二万石トスレバソコニ二万石ノ開キガアリマスカラ、幾ラカ緩和サレルト思ヒマスガ、何シロ之ニ對シテハ政府ノ方デ十分ノ御調ガナイヤウデス、私ノ質問ニ對シテモ時々變ヘテ行カレルシ、果シテ十三年度ニ之ヲ混用デハ政府ノ無水「アルコール」ダケハ準備ガ出來タト假ニ致シマシテモ、一般工業者ニ對シテハ非常ニ迷惑ヲ來

シハシナイカト云フ其懸念ハ今尙ホ晴レマセヌ、如何ニモ政府ハ計數的ノコトヲ御準備ニナルダケノコトダト思ヒマス、之ヲ私ハ心配シテ居ル、寧ロ慮心坦懷ニ一ツザツクバラシニ御話下サツテ、本當ニ私共ノ杞憂ヲ一掃スルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、先ヅ今御話ノ十三年度ニハ五月カラ始メルト、十六万五千石アッタラ宜シイ、其中政府ハ二万石造ル、十三年度ニハ十二万石造ル、斯ウ言ハレマシタガ、私ハ十二年二万石デモ原料ノ爲ニ容易ナコトデナイト申上ゲテ置キマシタ、所ガチャント二万石ニ相當スルヤウナ増産ガ玆ニ數字ノ上ニハ出テ居リマスケレドモ、恐ラクサウ云フコトハ容易ナコトデハナイト思ヒマス、唯政府ハ數字ノ上ニ御竝ベニナツテモ實際ノ上ト一致シナイ、斯ウ思フノデス、私ハ原料問題デモ、一昨日申シマシタヤウニ、原料ト云フモノハ今直チニ良イノガ出來テ來ルモノデハナイ、ヤハリ三月下旬ニ苗ヲ植エナケレバナラス、其時分ニ用意セネバナラス、議會ガ三月一パイ掛ルト致シマスレバ、苗ヲ植エル時期ヲ失シテシマフ、サウスルト増産ト云フコトガ行ハレヌデハナイカト云フコトハ申上ゲテ置キマシタガ、議會ガ濟メバ縣ノ主任官ヲ集メテ協議ヲスル、ソシナコト

ハ間ニ合ヒマセスト私申上ゲテ置キマシタ、今日八千八百石ノ増産、是ハドウ云フ方法デアルノカ諒解ニ苦シムノデアリマス、コシナ數字ヲ御出シニナツテモ、實際出來ナイモノハ出來ヌト仰シヤツテ下サラナイト數字ニ迷ッテシマフ、斯ウ云フコトヲ此場合御伺致シテ置キマス、十二万石ヲ十三年度ニ造ルト言フガ、何工場デ御造リニナルノデアリマスカ、ソレヲ御伺シタイト思ヒマス

○荒井政府委員 十三年度デ十二万石デアリマスガ、五工場デ二万石宛十萬石デアリマス、其外ニ十三年度ニ於キマシテ出來マスル工場ノ分ヲ二万石ト見テ居ルノデアリマス、是ハ十二年度デ二万石ヲ見込ミマシタノト同ジコトニ考ヘテ居ルノデアリマ

ス

○間部農林技師 一昨日デアリマシタカ三善委員カラ御尋ノ新規栽培ノ増加ニハ先ヅ種芋ト云フモノヲ考慮シナケレバナラス、サウシテソレハ種ハモウ苗床ニ移サナケレバナラス時デアアルノニ是カラ先ノ準備デハ間ニ合ハヌノデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ丁度御出席ガナカッタ時ニ説明致シタノデアリマスガ、昨年來甘藷ノ主要生産縣ニ於キマシテハ、大體甘藷ノ増

産氣構ヘデ種芋ハ相當皆餘裕ヲ以テ貯藏シテ居ルノデアリマシテ、是ハ唯私ガサウ申シタダケデハ、何ニ基イテサウ言フカト仰シヤイマスガ、私共ハ地方ノ其方ノ主務者ニ能ク調査ヲサセテ、サウシテ大丈夫サウ云フ準備ガアルノダト云フ報告ヲ受ケマスレバ先ヅ之ヲ信用シナケレバナラス、殊ニ種芋ノ問題ニ付キマシテハ近府縣ノモノハ最近ニ縣ノ者ヲ寄セテ聽イタノデアリマスガ、其縣ノ者ハ、町村ノ實際ノ事情ノ分ッテ

居ル技術員ナドト云フヤウナ者カラ事情ヲ十分ニ調べテ私等ノ方ヘ報告シテ來タノデアリマス、九州地方ニ付キマシテハ、最近人ヲ派シマシテ各縣ノ事情ヲ調べ、其者ノ報告ニ依ッテ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、大體ソレデアリマスカラ、先刻申上ゲタ新規栽培擴張地ニ對スル種芋ノ準備ハアルモノト考ヘテ居リマス、併シ此種芋ハ數量的ニ種芋ノ準備ハアルト申シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、成ダケ其種ヲ經濟的ニ無駄ノナイヤウニ利用スルト云フコトニ付テハ、是カラ隨分指導モ致サネバナリマセヌシ、ソレカラ或ル地方ニ比較的苗ガ多クテ餘ルガ、或ル地方ニハ不足スルト云フコトガアリマス、全體トシテハ足りテ居リマシテモ、内容的ニハ餘ル所ガアリ、足ラヌ所

ガアリマスカラ、ソコ等ノ間ノ配給ト云フコトニ付キマシテモ、是カラ先懸ニ是ガ決リマスレバ、十分斡旋モシ、指導モシナケレバナラスカト思ッテ居リマス

○三善委員 ソレハ今ノ御答辯デハ私ハ満足シマセヌ、ソシナコトデ、地方ノ技術官ガサウ云フコトヲ言フカラソレヲ信ジテ居ルト言ハレマスケレドモ、一體増産ト云フモノハ既成栽培地ニ於テ増産スル場合ニハ品種ヲ改良シナケレバナラス、品種改良ヲシテ初メテ増産ト云フコトガ出來ル譯デアリマス、今マデノ品種デハ増産ハ出來マセヌ、ドンナニサレテモ、今マデ何十年カ何百年カズツト經過シテ、一反當リ三百貫位ノ程度ニナツテ居ル、品種ノ改良ト云フガ、品種ガナイ、アナタハ芋ガアルト言フガ、各縣ニヤラレルダケノ品種ガナイ、品種ト云フノハ百三號カ百十號デセウ、此品種ガ全國的ニ普及シテ居ナイ、ホシノ一部分シカ百三號ヤ百十號ト云フモノハナイ、品種ガナイノニアナタノ方デ普及スルト言ッテモ普及サレナイ、ソレデ私ハサウ云フコトハ容易デナイト思フ、數字ダケハ此處ニアリマスカラ一通リ見マシタガ、是レ以上申上ゲマシテモ意見ノ相違ニナリマスカラ申上ゲマセヌ、ソレカラモウ一ツ無水「アルコール

ル」ヲ十三年度ニ十二万石ヲドウシテ造ラ
レルカト言フタノニ、十三年度デ新タナ工場
デ二万石、其他ノ工場デ十万石造ル、斯ウ

云フコトデアリマスガ、其他ノ工場デ十萬

石ト云フモノガ一體ドウシテ出来マスガ、

今甘諸ヲ植エマスト是ハ十二年度ニ二万石

作ル所ノ原料ガ出来ルノデアリマスガ、

十三年度ニ之ヲ栽培スルト十三年十一月デ

ナイト甘諸ハ出来ナイ、十三年十一月カラ

三月マデ僅ニ五箇月、一工場ニ何石宛御造

リニナル御積リカ、一工場ノ生産力ハ二万

石デス、二万石ニ對シテ一箇月ニシマス

千六百五十石ト云フコトニナル、之ヲ五箇

月デ致シマス約四万石、舊工場デハ四萬

石、新工場デ二万石、結局六万石シカ出来

ナイ、私ハアタノ計算ガ何處カラ出テ来

タノカ諒解ニ苦シム、十三年一月一日カラ

ズット御ヤリニナレバ宜イカモ知レマセヌ

ガ、原料ハ丁度十二年度ニ於テハ二万石ノ

原料ガ出来テ居ルカラ、十三年度ニハ餘分

ニアリマセヌ、強ヒテヤレバ一般焼酎業者

及ビ澱粉製造業者、及ビ今マデノ原料ヲ使ッ

テ居ッタモノニ支障ヲ来ス、或ハ食糧ニ非常

ニ支障ヲ来スト云フコトニナル、政府ガ屢々

甘諸以外ノ原料ノ生産ニ依ッテヤラレルト

言ハレテ居リマスガ、然ラバ、ドウシテモ

原料ガナイ、ドウ云フ風ニ御計算ニナッテ居
リマスガ、御計算ノ基礎ヲ伺ヒタイと思ヒ
マス

○荒井政府委員 此席ニ御見エニナラヌ時

ニ農林當局カラモ説明ガアッタノデアリマ

スガ、二万石ノ前年分、ソレカラ十萬石ノ

七箇月分ト云フモノハ此秋カラノ出来マス

甘諸ノ中デ補充シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノ

デアリマス、其残りノ分ハ來年ノ甘諸、斯

ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、御

話ハ二万石ノ分ダケヲ只今カラ苗ヲ植エマ

ス部分デ得ルト云フコトデアリマスガ、サ

ウハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、困難ト

言ハレマス二万石以上ニ、尙ホ十萬石ノ七

箇月分ト云フモノニ對スル——約九萬石ニ

對スル分ハ是非今日直チニ準備ヲスル、斯

ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○間部農林技師 種芋ノ品種ノ問題ニ付テ

御話ガアリマシタガ、私共モ將來薩摩芋ト

言ハズ馬鈴薯ト言ハズ、反當收量ノ増加ヲ

圖ル爲メノ一番效果ノアル方法トシテハ、

今ノ品種ノ改良ダと思ッテ居リマス、ガ現在

ニ於テ多數ノ品種ノ中ニ比較的良イ物ガア

ルノデ、ソレヲ選ンデ普及スルト云フコト

デナケレバナラヌノデアリマス、先刻私ノ

申上ゲタ苗ノ準備ガアルト云フノハ、現在

ノ品種ノ中デ出来ル限リ良イ物ヲソレト
準備シテ居ル譯デアリマス、縣ニ依リマス
ト、例ヘバ千葉縣ノ例ヲ以テ言ヒマス、

立四十日ト云ウテ澱粉用ノ芋トシテ廣ク作

ラレテ居ル品種ガアリマスガ、是ノ如キハ

昨年ハ作ガ惡カッタト云フヤウナ關係デ、準

備ガ十分デナイ、併シ鹿兒島ト云フ品種ガ

是又一ツノ特長ノアル品種デアル、是デ十

二年度ノモノハ立四十日ノ不作ヲ補フト云

フヤウナ都合ニ、今アル品種ノ中デ一番良イ

物ガ十分アレバソレノミニ依リマスガ、サ

ウ行カナイ時ハ次善ノモノト申シマスガ、

他ノ最良イ物ヲ選ンデ準備シテ置ク譯デ

アリマス

○三善委員 私ハ大體原料ノ不足ト云フ所

カラ出發シテ増産ノ石數ハ出ナイト云フコ

トヲ申上ゲタノデ、只今ノヤウニ在來ノ品

種ノ中デ良イ品種ヲ使ヘバ宜シイ、斯ウ言

ハレレバ、結局ハ原料ニハ不足ハナイ、斯

ウ云フコトニナリマススケレドモ、原料ニ付

テ申スト、一割五分カラ三割ト云フヤウナ

増産ナンカ出来ヤシマセヌ、總テノ栽培地

ニ向ッテ三割ノ増産ナンカ考ヘラレルモノ

デスカ、ソレニハ其間ニ十割モ或ハ五割モ

六割モ増産スルモノガナイト、全縣下ニ向ッ

テ三割ノ増産ナンカ出来ハシナイノデス、

ソレハ夢ミタヤウナモノデス、机ノ上デハ
十割デモ二十割デモ出来マセウ、實際ハ出
來マセヌ、實際出来ヌコトハ明カデアル、

唯數字ヲ御合セニナッテハイカヌ、本當ニ信

念ヲ以テオヤリニナラナケレバ、唯數字ヲ

御合セニナッテ、是デ間ニ合ヒマスと言ハレ

テモ、其場合ニナッテ非常ナ迷惑ヲ来シマ

ス、私共ガ原料問題ヲ諄々シク申上ゲルノ

ハ、原料不足ノ爲ニ他ノ工業者ニ迷惑ヲ及

ボシハシナイカ、延テ無水「アルコール」ノ

方ヘ原料ヲ御使ヒニナレバ、又一般工業界

ニ非常ニ迷惑ヲ及ボシハシナイカ、斯ウ云

フコトヲ憂慮シテ御尋スル譯デアリマスガ

ラ、其點ハ十分一ツ御考ヘ置テ願ッテ、唯數

字上ノミ御合セ下サラヌデ、モウ少シ本當

ニ出来ル問題ハ出来ルトシテ、出来ナイ問

題ハ出来ヌトシテ、虛心坦懷ニ御話ヲ願ヒ

タイト思ヒマス、此點ハ是以上申上ゲマセ

ヌ、先程原料ノ問題ニ付キマシテ馬鈴薯モ

原料トシテ使用出来ルト言ハレマシタガ、

私共モ馬鈴薯ヲ使ッテ貰ハナクテハナラヌ

ト思フ、殊ニ軍部ノ方ハ農村對策トシテ御

考ニナッテ居ラレル、農村對策トシテ一番考

ヘナケレバナラヌコトハ、東北、北海道ノ

非常ニ恵マレテ居ナイ地方、之ニハ矢張り

何カ此場合生産ノ増加ヲ圖ル方法ヲ考ヘナ

ケレバナラスト思ヒマス、ソレニハ矢張り馬鈴薯ヲ御使ヒニナラナケレバ、軍部ノ所謂農村對策ト云フコトニハナラナイダラウト思フ、隨テ私ハ作り易イ甘諸ヨリモ寧ロ馬鈴薯ニ重キヲ置イテ御考ニナルベキモノダト思フ、甘諸ハ直ニ出來マス、熱イ地方デハ甘諸ハドレダケデモ出來マス、ドレダケデモト言フノハ、作ラウト思ヘバ、今言ハレルヤウニ相當ノ年月サヘ與ヘマスアラバ、相當ニ生産ガ増加サレマセウ、併ナガラ早ク惠マレテ居ナイ地方ヲ惠ムヤウニスルノニハ、ドウシテモ馬鈴薯ニ付テモウ少シ考ヘテ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、一體馬鈴薯ニ付テ生産スレバドウ云フ風ニナルト云フ御見透シガ附イテ居リマスカ、先達テ政友會ノ政務調査室ノ方ニ御出デ下サツタ時分ニ、甘諸ヲ一貫目七錢トシテ計算スレバ、十三年ニ百三十八萬圓、十四年、十五年ハ二百万圓程ノ政府ノ補償ガ要ル、サウシテ十九年度ニハ八百万圓ノ損失ヲ國庫ニ來ス、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、私ハソレハ甘諸ヲ七錢トシテ御計算ニナツタ時ダト思ヒマスガ、十九年度ハ甘諸ヲ六錢トシテ御計算ニナツテ居ラルト思フ、物價ハ今日騰貴ノ趨勢ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、獨リ農産物ノミガ上ラナ

イト云フコトハ政府ニ於テ保證出來マスマイ、農産物モ一般物價ト共ニ騰貴スルモノト考ヘナケレバナラス、今ノ七錢ガ八錢或ハ九錢ニナルモノト考ヘナケレバ生産者ニ對シテ氣ノ毒デアル、相當ニ生産費ヲ償フダケノ費用ヲ與ヘナケレバナラスト思ヒマス、然ルニ政府ノ方デハ現在物價騰貴ノ趨勢ニアル今日ニ於テ既ニ七錢スル原料ヲ、六錢ニ見積ッテ居ル、サウシテ昭和十九年ニハ八百万圓國庫ガ損失負擔ヲスレバ宜シイ、斯ウ言ハレマスケレドモ、假ニ物價ガ現在ノ儘上ラナイトシテ、現在ノ七錢トシテ計算シテ見マシテモ、百六十萬石デハ千百二十萬圓ノ國庫ノ損失ニナル、是ハ甘諸バカリヲ考ヘタトキデアルケレドモ、甘諸ト馬鈴薯ヲ混合シテ使用サレルト云フコトヲ考ヘマスレバ——甘諸モ使ヒ馬鈴薯モ使フ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マスレバ、損失ハモツト大キクナルト思ヒマスガ、是ハ非常ニ重大問題デアル、此十八年ニ何千萬圓ノ國庫負擔ヲスレバ宜シイカト云フコトハ非常ニ重大ナ問題デアル、此重大ナ問題ヲ議スルニ當ッテ、甘諸ヲドレダケ使フカ、馬鈴薯ヲドレダケ使フカ、ソレハ今カラ研究ヲスル、コンナコトデ判然トシタ考ガナイヤウデアリマスガ、果シテ將來ハ甘諸ヲドレダケ

御使用ナサル御積リデアルカ、或ハ馬鈴薯ヲドレダケ原料トシテ御使用ナサル積リデアルカ、是ハ今ノ内カラ計畫シナイト、甘諸ト馬鈴薯ヲ使用シタ時ニハ國庫ノ損失ノ上ニ於テ重大ナ影響ヲ來シマスカラ、之ヲ一應御聞キシタイト思ヒマス

○荒井政府委員 茲ニ持ッテ居リマス數字、即チ只今御述ベニナツタ數字ハ其通りデアリマス、今日ノ現狀ヲ基礎トシテ計算ハ立ッテ居ルノデアリマスケレドモ、物價ガ騰貴スレバソレニ伴ウテ農産物ノ價格モ上ルコトニナリマセウ、是ハソレニ應ジタ價格ニ致サナケレバナラスト思ヒマスガ、一般物價ノ騰貴ト云フコトヲ前提トシマスナラバ、恐ラク「ガソリン」等ニ付テモ騰貴ハアリマセウ、ソコデ詰リ是ハ相殺サレルト云フコトヲ想像スルコトモ、私ハ決シテ無理デハナイト思フノデアリマス、一方ガ上ツテ、一方ハ上ラスト云フコトハナイカト思フノデアリマス、甘諸ヲズツト七錢トシテ計算スレバ、其損失ハ一千万圓以上ニ上ルデアリマセウ、併シ將來六錢トシテ計算致シマシタノハ、今日ノ現狀ニ於テ増産計畫ガ立テラレマスレバ、末ニ於テハ其通りニナルデアラウト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、サウシテ農産物ヲ結局高ク買フ

ト云フコトデアリマシテ、農村ニ落ちル金トシテハソレダケ大キクナルノデアリマス、一方ニ於テ此増産計算ガ立チ、又増石ガ出來マスレバ、外國ニ拂ハレル金ハソレダケ減ルノデアリマシテ、相當ノ損失ヲ覺悟シテ吾々ハ之ヲヤラナケレバ出來ナイ仕事デアアルノデアリマス、而シテ、然ラバ十九年ト二十年度ニ於テ馬鈴薯ヲ幾ラ使ッテ幾ラ損ガ行クカト云フコトデアリマスガ、此馬鈴薯ヲ幾ラデモ置クカト云フコトハ、是ハ中々難シイ問題ト思ヒマス、而シテ甘諸ヨリモ幾分損失ガ殖エルト云フコトハ、是ハモウ御議論ノ通りデアリマス、甘諸ノミナラズ馬鈴薯ヲ使ヘバ、ドウシテモ不利益ナ計算ガ出ラダラウ、ソレヲ如何ナル割合ニ於テ馬鈴薯ヲ使フカト云フコトハ、今後ノ増産計畫及ビ其價格ニ依ッテ決マルノデアリマスガ、只今計算ガ分ラヌケレバ困ルト云フコトデアリマスガ、是ハ割合ヲ今決メルコトハ困難デアルト云フコトモ、是ハ御諒承願ヘルノデヤナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス

〔信太委員長代理退席、委員長著席〕

○間部農林技師 原料ノ供給ノ計畫ガ、單ニ數字ヲ合ハセルヤウニ作ッタモノニ過ギナイノデ、少シモ自信ノナイモノデアルト

云フヤウナ御話デアリマシタガ、私共サウ
思ヒマセヌ、固ヨリ決シテ此仕事ガ容易ナ
仕事ダトハ考ヘテ居リマセヌ、ガ十二年度
ニ必要トスル程度ノ原料ハ、先刻申上ゲマ
シタ地方ニ於テハ、アア云フ計畫ノ下ニ極
力實行サセル積リデアリマス、吾々トシテ
モ指導モシ、督勵モ致ス、縣モ相當ノ覺悟
ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ今日當業者ハ非
常ナ熱ヲ持ッテ居リマス、是ハ能ク御承知ト
思ヒマスガ、相當ノ期待ヲ以テ此仕事ニ當
ラウト致シテ居ルノデアリマスカラ、固ヨ
リ非常ニ容易ナ仕事ト私共ハ毛頭考ヘマセ
ヌガ是ハ極力努メレバ豫期ノ増産ハ出來ル
モノト、私共確信致シテ居リマス

○東條委員 一寸關聯シテ……サッキノ局
長ノ御説明ダト云フト、十二年度ノ二万石
ト、ソレカラ十三年度ノ十萬石トノ原料ノ
芋ハ、此十二年度産ノ芋ヲ使フノダト云フ
意味ニ私拜聴シタノデスガ、サウデスカ
○荒井政府委員 十萬石ノ中ノ七箇月分
ハ、此年度ノ芋ト云フコトニ御考ヲ願ヒタ
イ

○東條委員 十二分ノ七デスネ
○荒井政府委員 サウデス、其後ハ又翌年
ノ芋ガ出テ來マスカラ、其芋ヲ使フ
○東條委員 サウ致シマスト、三善君ノ御

質問ニ對シテ先日ノ御答デハ、十年度ニハ
二萬石ト云フノデ、三善君ノ御質問ハ、二
萬石ニ對スル原料ト見テ居ラレタノダガ、
サウスルト合計約七萬石位ノ原料ヲ、十二
年度ニ増産サレルト云フコトニナルノデス
カ

○荒井政府委員 政府工場ノ分ハ十二年度
七萬石ニナリマス、只今ノ御話ノ通りデス
○三善委員 原料ノコトハ政府ノ方デモ相
當ニ困難ト言ハレマスガ、私ハ困難ドロ
ヂヤナイ、是ハ實現出來ヌト斯ウ思ヒマス
ガ、意見ノ相違デスカラ、モウ其點ハ再ビ申
上ゲマセヌ、只今私ハ政府ノ將來ノ國庫ノ
損失負擔ナルベキ數字ニ付テ申上ゲマシ
タガ、物價ガ暴騰ニナレバ隨テ「ガソリン」
ノ値モ騰ッテ來ルカラ、ソレハドチラモ騰ル
ノダカラ、別ニ影響ガナイト云フヤウナコ
トヲ言ハレタノデスガ、私ハ現在ノ甘藷ヲ七
錢トシテ——現在ハ八錢シテ居リマスケレ
ドモガ、七錢ト御認メニナッテ居ルカラ、私
ハ七錢トシテ計算シタ譯デスガ、十八年度
ニハアナタノ方デモ六錢ト計算シテ居ラレ
ル、六錢ダカラ八百萬圓ト云フヤウニ相成
ルケレドモガ、七錢トスレバ私ノサッキ言
ヒマシヤウニ、千二百二十萬圓ト云フコト
ニナル筈デス、是ハ一ツ今ノ價格デ考ヘテ

居ラレト云フコトハ、御取消願ハナケレ
バ——六錢トシテ御考ニナッテ居ルカラ、先
日ノ説明ノヤウナコトニナッタ譯デスカラ、
ヤハリ今ノ價格トシテ御考ニナルナラ、七
錢トシテ御考ニナラナケレバナラヌト思
フ、尙ホ只今ノ御説明ニ、甘藷ヲドレダケ
使フカ、馬鈴薯ヲドレダケ使フカト云フコ
トハ、ソレハハッキリ行カヌカラ、其點ハ豫
メ御諒承願ハネバナラス、是ハ成程私ハ甘
藷ト馬鈴薯ヲドレダケヅツト云フコトヲ、
數字ノ上ニハッキリ明瞭ニセヨト、斯ウ言フ
モノデハアリマセヌ、ケレドモ少クトモ農
村對策トシテ御考ニナル時ニハ、此處ニモ
甘藷ノ栽培面積及ビ甘藷ノ生産數量ガ出テ
居リマス、又甘藷ノ増産ノ數量ガ出テ居リ
マス、是ト同様ニ馬鈴薯ノ作付段別ト生産
ノ數量及ビ増産ノ數量ガ出テ居リマス、ソ
レデドノ縣ニハドレダケノ馬鈴薯ガ出來
ル、ドノ地方ニハドレダケノ馬鈴薯ガ出來
ルト云フコトハ凡ソ分ッテ居ル、農村對策ト
シテ御考ニナリマスナラバ、之ヲ頭ノ上ニ
置イテ御考ヲ願ハナケレバナラス、ソコハ
諒承ヲ願ハナケレバナラス、此重大法案ヲ
審議スル上ニ付テ、其邊ノ大體ノ方針ガ決ッ
テ居ラヌト云フコトデ、何ガ農村對策デス
カ、ソレデ東北ガ惠マレマスカ、北海道ガ惠

マレマスカ、全然アナタノ言フヤウナコト
デハ、惠ンデヤレルカドウカト云フコトハ、
私ハ分ラヌト思ヒマス、私ハ數字デドレダ
ケト云フコトハ、ソシナニ窮屈ニ考ヘハシ
マセヌガ、凡ソノ見當ハ付カナケレバナリ
マセヌ

○荒井政府委員 此處ニ出テ居リマス數字
ヲ基礎ニ致シマスト、比較的ニ馬鈴薯デ以
テ製造スル數量ガ少クナルト思ヒマス、吾
吾ハ馬鈴薯ノ將來ノ増産ノ見込ヲ考ヘマシ
テ、出來ルダケ馬鈴薯ノ分ハ殖シタイト云
フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、決シテ
馬鈴薯ヲ使ハヌトカ、或ハ少クスルト云フ
考デハアリマセヌ、是デ計算シマスト、大
體馬鈴薯ハ四分ノ一位ニシカナラスノデア
リマスガ、モウ少シ殖シ得ルノデハナイカ
ト云フヤウナ考ヲ以テヤッテ居リマス

○三善委員 サウシマスト將來馬鈴薯ハ、
大體四分ノ一ダケ使用スルト云フコトデ、
アト四分ノ三ハ甘藷デ補ッテ行クト云フヤ
ウナコトデアリマスト、私が先程言フヤウ
ニ、政府ハ農村對策トシテ頻リニ考ヘテ居
ラレルガ四分ノ一、而モ廣大ナル面積ヲ擁
スル所ノ北海道及ビ東北地方、主トシテ馬
鈴薯ノ産地タル此方面ニハ、餘リ此恩澤ヲ
受ケルコトガ少イ、斯ウ云フヤウニ諒解シ

テ宜シイデスカ

○荒井政府委員 今日ノ數字ヲ基礎トシテ行ケバサウ云フコトニナリマスガ、ソレハ出來ルダケ馬鈴薯ノ方ヲ殖ヤス方法ヲ考ヘナケレバイカヌデヤナイカ、斯ウ云フ方針ヲ申シテ居ルノデアリマス

○三善委員 馬鈴薯ヲ殖ヤスト言ハレルノハ、馬鈴薯ノ増産ト云フノデ、チヤント玆ニ調べテアルノデス、増産可能ノ生産ノ數量ト云フモノハ、チヤント分ッテ居ルノデス、ソレダカラ私ハサウ云フ風ニ、ドウモ農村對策、農村對策ト云フコトヲ言ハレルカラ、少クトモ農村對策ナラバ、惠マレテ居ナイ地方ヲ相當ニ惠ムヤウニシナケレバ、是ハ農村對策ニナラス、斯ウ云フ考デ申上ゲタノデアリマシテ、將來スルヤウニシヨウト云フコトデハ判然致シマセヌ、假ニ此計算ガ若シ甘諸ト馬鈴薯ト半分々ツツ御使用ニナル、サウ致シマスレバ、現在馬鈴薯ハ今日——先刻モ六錢ト言ハレマシタカラ六錢デアリマス、之ニ依ッテ國庫ノ損失負擔トナルト云フモノハ、約千七百萬圓ニナルト思ヒマス、是ハ私ノ如キ素人デサヘ此計算ヲ爲シテ、凡ソ馬鈴薯ヲ使ッたら幾ラ國ニ要ルダラウト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル、將來ヲ心配シマシテ、斯ウ云フヤ

ウナコトモ計算シテ見マシタガ、政府ノ方デハ此重大法案ヲ出スニ當ッテ、馬鈴薯ヲドウ云フ風ニスルトカ、甘諸ヲドウ云フ風ニスルトカ云フヤウナ、適確ナ案モナイ、國庫ニ將來ドレダケノ負擔ヲ負フベキモノカト云フコトハ、是ハ財政上ノ見地カラ重大問題デアリマス、アナタノ言ハレルヤウニ、外國ニ出サヌカラ宜イデハナイカ、斯ウ言ハレバ、財政ト云フヤウナコトヲ考ヘル必要ガナイ、ケレドモガサウハイカナイ、ダカラ其事ヲ考ヘナケレバ、斯ウ云フ重大法案ニ對シテ私共ガ十分審議スル譯ニモ行カスデス、全クアナタ方ハ出鱈目法案デ、之ニ對シテノ御信念ガナイ、又將來ノ計畫ト云フモノガ立ッテ居ナイト云フ外ナイト思ヒマス、コンナコトハ或ハ言葉ノ言過ギカモ知レマセヌガ、私ハドウシテモ質問應答カラ考ヘルト、サウ云フ風ニ考ヘザルヲ得ナイ、ダカラモウ少シ眞剣ニ御考ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマス、尙ホ一ツ私ハ御尋ヲ申シマス、原料ニ關シマシテハ、關稅ノ免除ヲナサル所ノ法案ガ、關稅ノ改正法案ニ出テ居ル、ソレハ政府ノ方デ御使用ナサル所ノ輸入原料ニ對シ、所謂酒精原料ニ對シテ輸入稅免除ノ規定ガ出テ居リマスガ、若シ原料ガ内地デ自由ニ出來ルト云フ

先程ノ御考デアッタナラバ、何故外國カラ來ル原料ノ輸入稅ノ免除ト云フコトヲ御考ニナッテ居ラスノカ、其點ハ私ハ原料ガ内地ニナイカラ、斯ウ云フコトヲ御考ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○荒井政府委員 其點ハ關稅委員會ニ於キマシテ、其當局カラ説明ヲ致シタラウト思ヒマスガ、内地ニ於テ非常ニ凶作ノ場合ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、恐ラク其通り説明シテ居ルト思ヒマス

○三善委員 ドウモアナタノ御答辯ハ違フ、先程東條君ガ非常ナ凶作ノ場合モアルガ、サウ云フ時ハドウシマスカト言ッた時、ソレハ餘裕ヲ持ッテ置キマスと云フヤウナコトデ、アツサリ解決ヲ付ケテ、私ガ關稅問題ヲ出スト、イヤ凶作ノ場合ヲ考ヘテ居ルト答ヘラレル、全ク答辯ガ一貫シナイ、サウ云フ答辯デハ私ハ満足シナイ

○荒井政府委員 ソレハ關稅ノ方ノ免除ト云フコトニ依リマシテ、サウ澤山ノ酒精ノ原料ヲ得ルト云フコトモ中々困難デアリマセウ、一方ニ於キマシテハ、サウ云フ方法モ講ズルコトモアリマセウシ、又非常ナ凶作デ、内地デ原料ガ得ラレナイ、少シ位外國ノ原料ヲ持ッテ來テモ致方ガナイ、斯ウ云

フ場合ニハ能率ヲ下ゲナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルト考ヘテ居リマス

○三善委員 是ハ速記録ヲ見テ下サルトハッキリ分リマス、東條君ニ對スル御答辯ノ要旨ト私ニ對スル御答辯トハ全ク違ヒマス、國內ニ於テ原料ガ不足ヲ生ジナイト言フナラバ、何モ苦シンデコンナ事ヲスル必要ハナイ、又國內デ生産ガ十分デナイ場合、即チ不作ヲ生ジタ場合ニハ、政府ノ方デハチヤント其爲ニ相當準備ヲシテ置クト云フヤウナコトハ、マルキリ關稅問題トハ離レテ參リマスカラ、政府ノ答辯ニハ矛盾ガ生ジマス、私ハ尙ホ關稅問題ニ付テ御尋シタイト思ヒマスガ、關稅ハ政府ノ輸入スル原料ニ對シテノミ免除シテヤルノデアリマスカ、民間ノ輸入原料ニハ免除ノ方法ヲ講ゼラレナイノデアリマスガ、今ヤ燃料問題ハ所謂國策トシテ考ヘナケレバナラス、然ルニ内地ニ原料ガナイカラト云フノデ、アナタノ言ハレル通り——アナタノ言葉ヲ藉リテ言ヒマスレバ、内地ニ原料ガ不足スルカラ外國カラ原料ヲ輸入スル、ソレハ政府ノ原料ダケヲ免税シ、民間ノ原料ハ此恩惠ニ與ルコトハ出來ナイゾト言フナラバ、民間ノ工場ハ壓迫ヲ受ケテシマフ、政府ノミ獨リ輸入稅免除ノ品物ヲ使ヒ、民間ハ課稅シ

タモノヲ使ハナケレバナラヌト云フナラ、
全ク政府ハ民間ノ仕事ヲ壓迫スルコトニナ
ル、ソレハ如何ニ御考ニナリマスカ

○荒井政府委員 スル場合ニ於キマシテ
ハ、政府ノ工場ニ於ケル原料ハ出來ルダケ
民間ニ譲リマシテ、成タケ之ヲ使ハヌト云
フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、其場合
ニ休ムコトニスルカ、或ハ外國カラ安イモ
ノガ入レバ、ソレヲ使ッテヤルト云フコトニ
ナルカト思フノデアリマス

○三善委員 變ナ御答辯デスネ、政府ニ於
テハ内地ノモノハ使ハズシテ民間ニ譲ッテ、
政府ハ外國カラ輸入シタ原料ヲ使フ、ソ
ナ事ガ出來マスカ、ソレナラ民間ニヤハリ
輸入ノ原料ヲ免除スル規定ヲ設ケテヤッ
宜イデアリマセスカ、政府ノミニ限ラヌ
デ、民間ニ免税ノ規定ヲ設ケタラ宜イ、政
府ガ關稅ノ保護ヲ受ケテ、民間ニ其保護ヲ
受ケサセナイ、其取扱ハ全ク政府獨裁デ、
民間ノ企業ヲ壓迫スルト考ヘラレテモ仕様
ガナイ、政府ニ於ケル所ノ原料ハ民間ニ讓
ル、政府ハ一定ノ契約ヲシテ民間カラ御買
ヒニナル、其買ヒ求メタ原料ヲ民間ニ讓
勇氣ガアリマスカ、恐ラク契約シテ甘諸及
ビ馬鈴薯ヲ作ラシテ、而モソレガ非常ニ飢
饉デ出來ナカッタ、政府自身モ非常ニ原料ノ

不作ヲ懇ヘテ居ル、大不足ヲ懇ヘテ居ルカ
ラ外國カラ原料ヲ輸入スル、其時分ニ政府
ノハ免税スル、其時分ニハ同様ニ民間モ飢
饉ヲ懇ヘテ居ルカラ、ヤハリ民間ニモ外國
カラ、輸入シタモノハ、之ニ對シテ免税ス
ルト云フコトガ當然デナケレバナラヌ、終
始一貫セナイデヤナイカ、アナタノ御意見
デハ承服スルコトガ出來ナイ、別ニ御名案
ガアッタラ御答辯ヲ願ヒタイ

○荒井政府委員 先程私ノ申シマシタ通り
デアリマス

○三善委員 元來ガ斯ウ云フ國策ヲ決メル
場合ニ、大臣ガ一人モ出テ來ヌト云フコト
ハ、私ハ之ヲ重要法案ト考ヘテ居ラヌカラ
出テ來ラレナイノダラウト思フ、之ヲ重要
法案ト考ヘテ居ルナラバ、大臣ガ一遍位來
テ説明シ、或ハ質問ニ答ヘルノガ本當デア
ラウト思フ、大臣ガ一遍モ來ナイノハ是ハ
ドウナッデモ宜イト云フ風ニ、強ク是非ハ
通過シナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居
ラヌ爲メデハナイカ、今ノ政府ノ答辯カラ
考ヘテモ、終始一貫セナイヤウナ、矛盾シ
タヤウナ答辯ヲシテ、ソレデ此法案ガ成立
スルト云フコトヲ考ヘルノハ大間違デア
ル、私ハドウ考ヘテモ政府ノ御答辯ノミヲ
以テシテハ満足スルコトガ出來マセヌ、併

シ是レ以上申スコトハ意見ノ相違ニナルカ
ラ、其意見ノ相違ノ點ハ申上ゲマセヌ

○荒井政府委員 尙ホ大藏大臣ニ於キマシ
テモ出席致シマシテ、十分皆様ノ御満足ノ
行クヤウニ致シタイト思ヒマス

○平川委員長 三善君、マダアナタノ質問
ハアルト思ヒマスガ……

○三善委員 マダアリマス

○平川委員長 ソレデハアナタノ質問ヲ留
保シテ、今日ハ散會致シマシテ、明日十時
カラ開會致シマス、明朝ハ成ルベク大藏大
臣ノ御出席ヲ願フヤウニ致シマス、ソレデ
ハ是デ散會致シマス

午後四時四十分散會

昭和十二年三月十五日印刷

昭和十二年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社